

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

分担 研究報告書

生活訓練での標準化された評価手法の確立へ向けた試験調査に関する研究

研究分担者	小島 正平	かがわ総合リハビリテーションセンター	成人施設長
	田中 康之	千葉県千葉リハビリテーションセンター	地域リハ推進部長
研究協力者	岩上 洋一	社会福祉法人じりつ	理事長
	遠藤 紫乃	一般社団法人スターアドバンス	代表理事
	高浜 功丞	千葉県千葉リハビリテーションセンター	主任作業療法士

研究要旨

生活訓練では、生活能力の維持・向上等のため、入浴、排せつ及び食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言等の必要な支援を行うものとされているが、利用意向や帰結が障害種別によって多様性があることが先行研究からわかっている。そして、目標達成に向けた支援を行うにあたり、帰結だけではプログラム提供の効果測定ができない。また、生活訓練の標準的なアウトカム評価がないことから、事業所によって評価指標や評価基準に相違がある。当研究において標準的な評価指標について検討するための試験調査として、特定の事業所を対象に、既存の評価指標を用いて、生活訓練の効果に対する調査を実施した。この調査結果をもとに、設問や分析方法の修正を行ったうえで、令和3年度に本調査を行い、最終的には、標準的な評価指標を作成することを目指す。

A. 研究目的

生活訓練は十分な効果がある支援プログラムにより行われるべきであり、この効果を実証するための標準的な評価手法があるべきである。「自立訓練の実態把握に対する調査研究」の報告からはそれぞれの事業所により訓練内容や質が異なること、社会リハビリテーションの内容の広さもあって、適切に標準化された評価手法が確立されていないことが課題として挙げられている。本研究はそれぞれの事業所において標準的な評価手法のもとに十分な効果がある支援プログラムが利用者全てに適用されることを目的として行う。

令和2年度の研究においては、生活訓練の提供サービスに適した評価項目を検証するため、既存の評価指標を用い試験的に調査し、評価項目ごと

の傾向を分析し、次年度実施予定の大規模調査の調査票を完成させるために必要な情報収集を行うことを目的とする。

B. 研究方法

1. 対象

研究分担者・研究協力者の事業所及び知的障害、精神障害、高次脳機能障害において支援実績がある地域事業所（12事業所・62事例）

2. 調査内容

調査票（資料1）に従い、生活訓練事業所の支援者及び利用者に対し、過去の評価データと聞き取りにて回答してもらった。

3. 方法

基礎項目として性別、年齢、家族背景、疾患名、障害名、障害者手帳、支援区分、介護区分の他、利用意向や支援の到達度。成果項目として社会参加、収入状況などの生活状況。評価項目として既存指標である FIM、IADL 尺度、RAS、WHO/QOL26、WHODAS、LSA、実用的歩行能力分類の 7 指標を用い収集したデータをクリーニングした後に、利用前後での変化、各因子の相関等について解析した。

4. 調査期間

令和 2 年 11 月 24 日～令和 3 年 1 月 10 日

5. 倫理面への配慮

調査対象となる利用者は匿名にてデータ収集を行い、分析の際には統計処理したデータを使用した。

C. 調査結果

1. 基本項目

本調査における対象者の属性ほか基礎項目については以下の通りであった。

(1) 性別と年齢

調査対象者の性別は、総数 54 名に対して男性が 72.2%、女性が 27.8%となっていた。(図 1)

また年齢分布は、20代が 22.2%、30代が 11.1%、40代が 22.2%、50代が 31.5%となっており、50代～60代で半数を超えていた。(図 2)

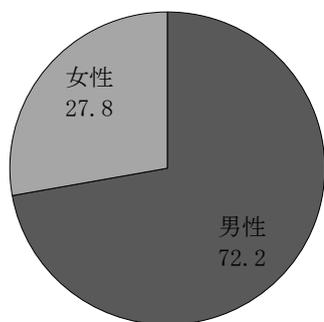


図 1:対象者の性別の割合 (n=54)

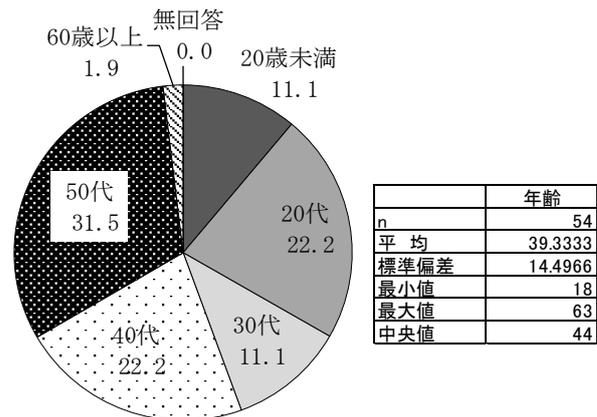


図 2:対象者の年齢分布 (n=54)

(2) 主たる障害と重複障害

主たる障害 (単一回答) については、「高次脳機能」が 59.3%と最も多く、続いて「精神」が 25.9%で、「発達」が 5.6%となっていた。

また重複障害 (複数回答) では、「肢体 (上肢)」と「肢体 (下肢)」がそれぞれ 22.2%、「精神」が 16.7%となっていた。(図 3)

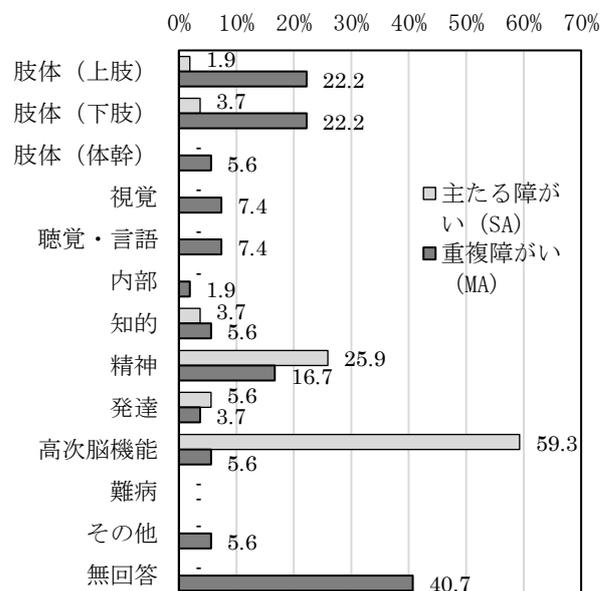


図 3:主たる障害・重複障害 (n=54)

(3) 精神分類

精神分類では、「うつ病」が 14.8%と最も多く、続いて「統合失調症」が 5.6%となっていた。(図 4)

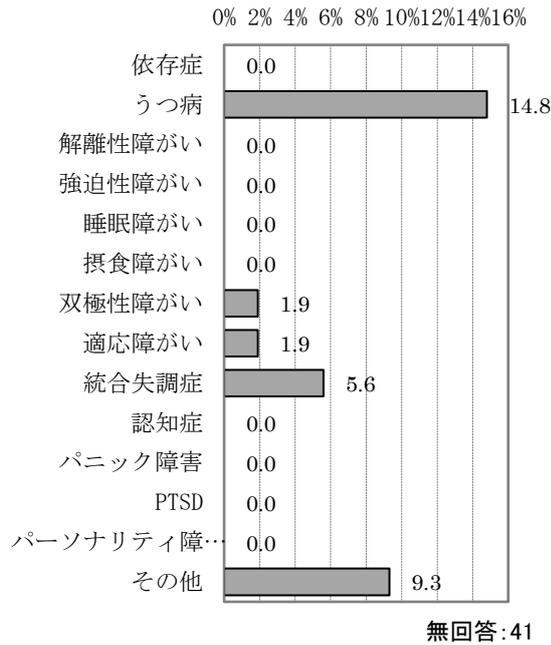


図 4: 精神分類 (n=54)

(4) 疾患名

疾患名では「外傷性脳損傷」が 29.6%と最も多く、次いで「脳血管疾患」が 25.9%となっていた。

(図 5)

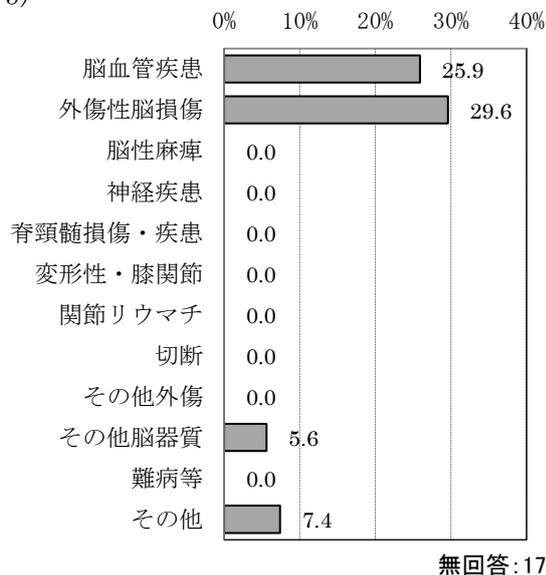


図 5: 対象者の疾患名 (n=54)

(5) 身体障害者手帳

対象者の身体障害者手帳の等級は「2 級」が 11.1%で、「1 級」「3 級」「5 級」がそれぞれ 37.0% (2 件) となっていた。(図 6)

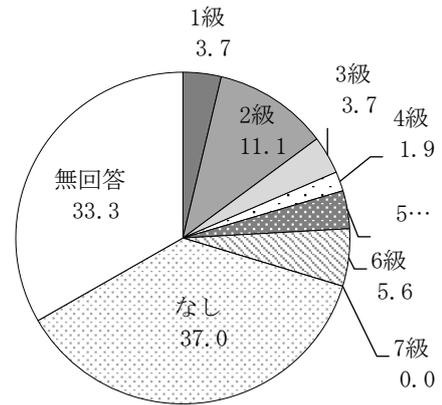


図 6: 身体障害者手帳の等級 (n=54)

(6) 精神障害者保健福祉手帳

対象者の精神障害者保健福祉手帳の等級については「2 級」が 44.4%で最も多く、「3 級」が 27.8%であった。また「なし」は 13.0%であった。(図 7)

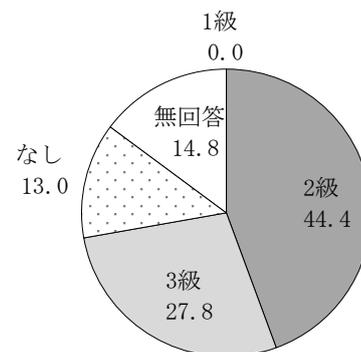


図 7: 精神障害者保健福祉手帳の等級 (n=54)

(7) 療育手帳

対象者の療育手帳の等級では「なし」が 50.0%で半数を超えており、「B」が 3.7%、「A」が 1.9%となっていた。(図 8)

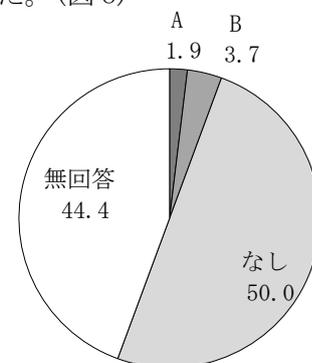


図 8: 療育手帳の等級 (n=54)

(8) 障害支援区分

対象者の障害支援区分では「区分 2」が 29.6%で最も多く、次いで「区分 3」「区分 4」が 7.4%となっていた。また「なし」が 44.4%であった。(図 9)

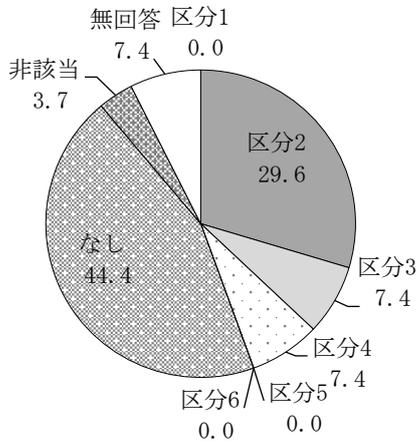


図 9:障害支援区分 (n=54)

(9) その他診断書など

対象者のその他診断書などは「精神」が 27.8%で「身体」が 1.9%となっていた。(図 10)

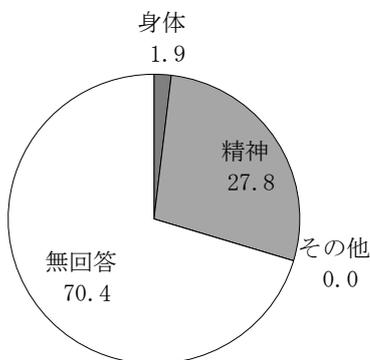


図 10:その他診断書など (n=54)

(10) 要介護度

対象者の要介護度は「要支援 1」と「要支援 2」とがそれぞれ 1.9%であり、要介護は 1~5 いずれも 0 件であった。また「非該当」は 18.5%、「未申請」は 42.6%となっていた。(図 11)

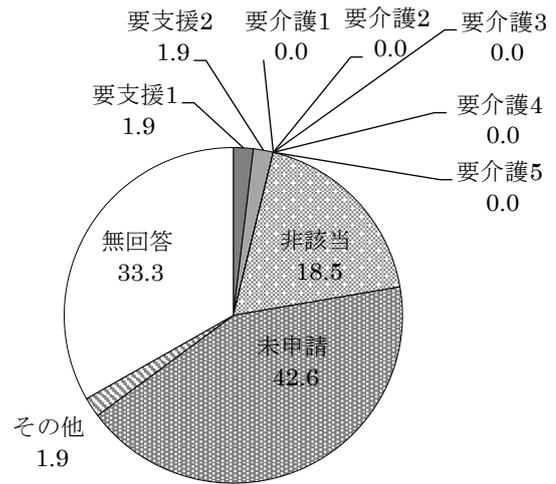


図 11:要介護度 (n=54)

2. 利用状況

本調査における対象者の利用状況については以下の通りであった。

(1) 利用意向と到達目標

調査対象者の利用意向は、「就労・就学への支援」が 48.1%と最も多く、次いで「家庭復帰・地域生活移行への支援」が 18.5%、「社会生活力の向上」が 14.8%となっていた。

また到達目標では、「生活リズムの獲得」が 27.8%と最も多く、次いで「社会生活力の向上」が 16.7%、「生活スタイルの構築・再構築」が 13.0%となっていた。(図 12)

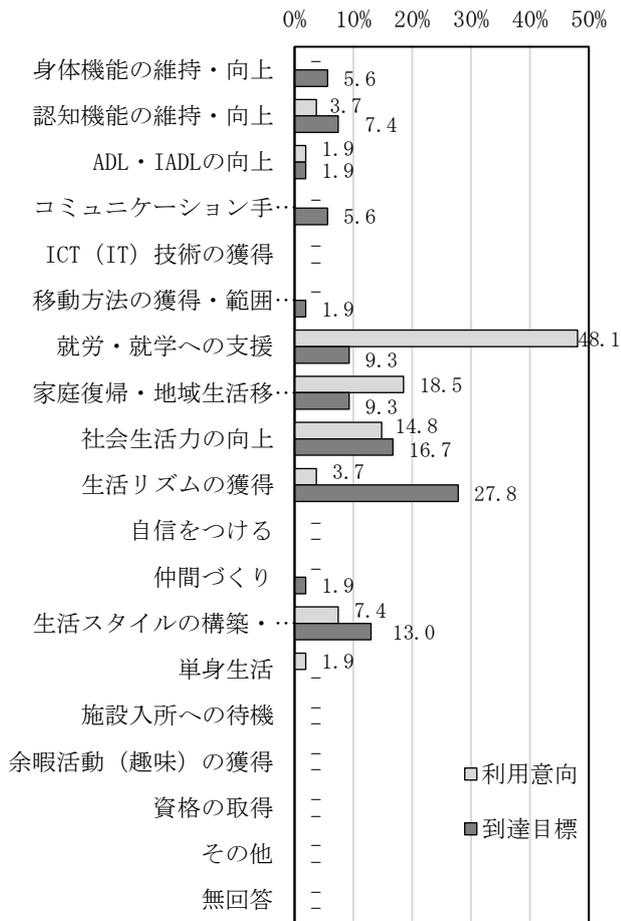


図 12: 利用意向と到達目標 (n=54)

(2) 利用日数

利用日数は「240～360日未満」が22.2%と最も多く、「360～480日未満」「120～240日未満」がともに20.4%となっていた。平均日数は401.1698日であった。(図13)

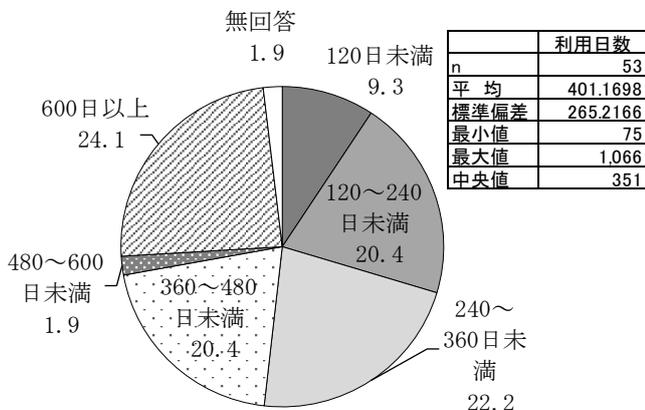


図 13: 利用日数 (n=54)

(3) 利用形態

利用形態では、開始時は「施設入所支援」が42.6%であったところ、終了時には29.6%と低下し、一方で「通所支援」は開始時40.7%であったものが終了時には53.7%と増加していた。(図14)

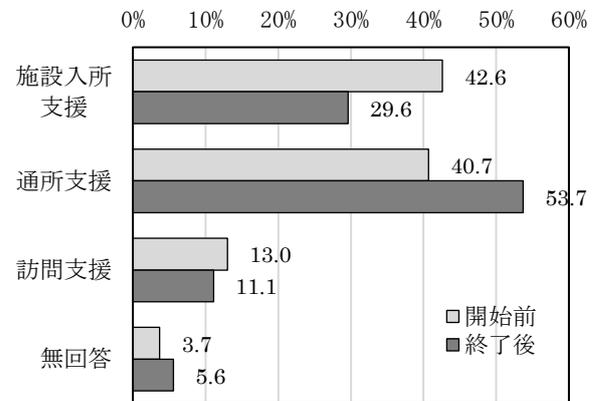


図 14: 利用形態 (n=54)

(4) 生活拠点

生活拠点は、「家族同居」が開始時と終了時とで53.7%で変化なく、「単身生活」は開始時の22.2%から終了時は24.1%と微増であった。その一方で、「共同生活援助」は開始時0%であったものが終了時には14.8%となっていた。(図15)

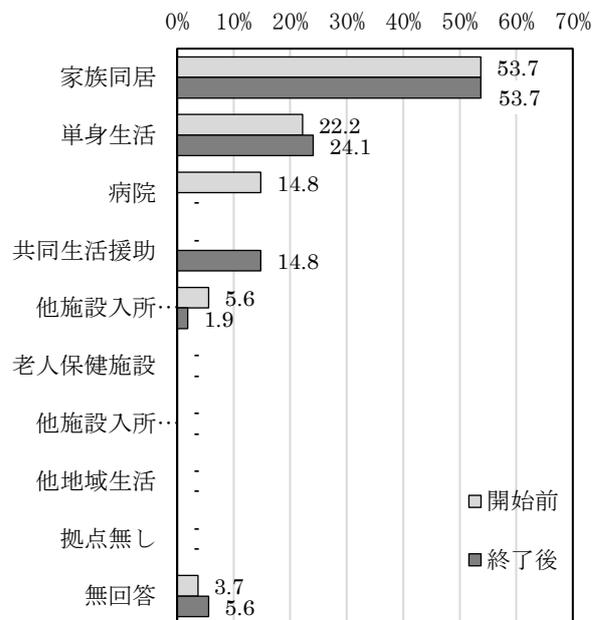


図 15: 生活拠点 (n=54)

(5) 家族背景

家族背景では、「単身」が訓練の開始前は25.9%であったものが、終了時には37.0%と増加しているのに対して、「両親（兄弟）と同居」は開始前44.4%から終了時33.3%へと減少、「配偶者（子供）と同居」も開始前18.5%であったものが終了時14.8%へと減少していた。（図16）

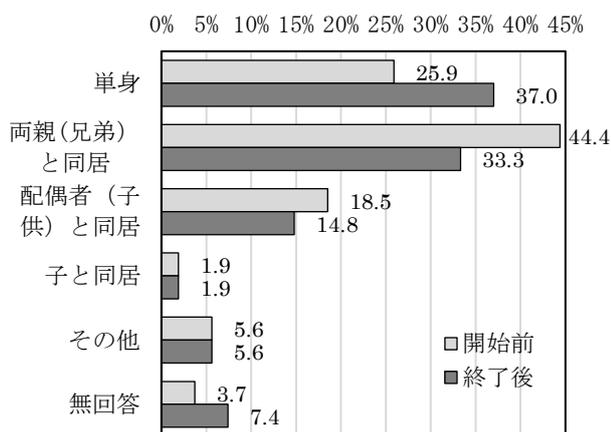


図16:家族背景(n=54)

3. 利用結果

本調査における対象者の利用結果について、以下の通りまとめた。

(1) 支援の到達度

支援の到達度では「目標が達成できた」が25.9%であり、「75%以上目標を達成できた」が50.0%となっていた。これらを合わせると全体の4分の3以上を占めていた。（図17）

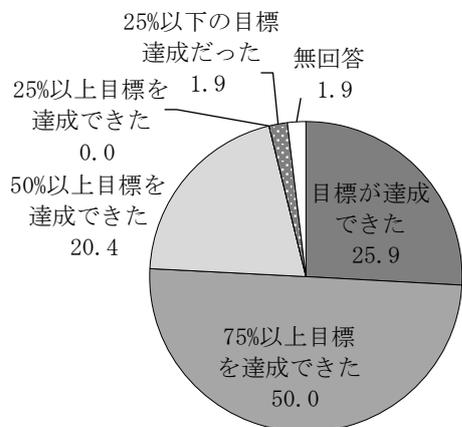


図17:支援の到達度(n=54)

(2) 社会参加の状況

社会参加の状況をみると、訓練開始前は「計画相談」が38.9%と最も多く、次いで「生活訓練」が33.3%、「活動なし」は20.4%となっていたが、訓練終了後になると「計画相談」55.6%で次いで「就労移行」が24.1%、「就労継続支援B型」も22.2%となっていた。（図18）

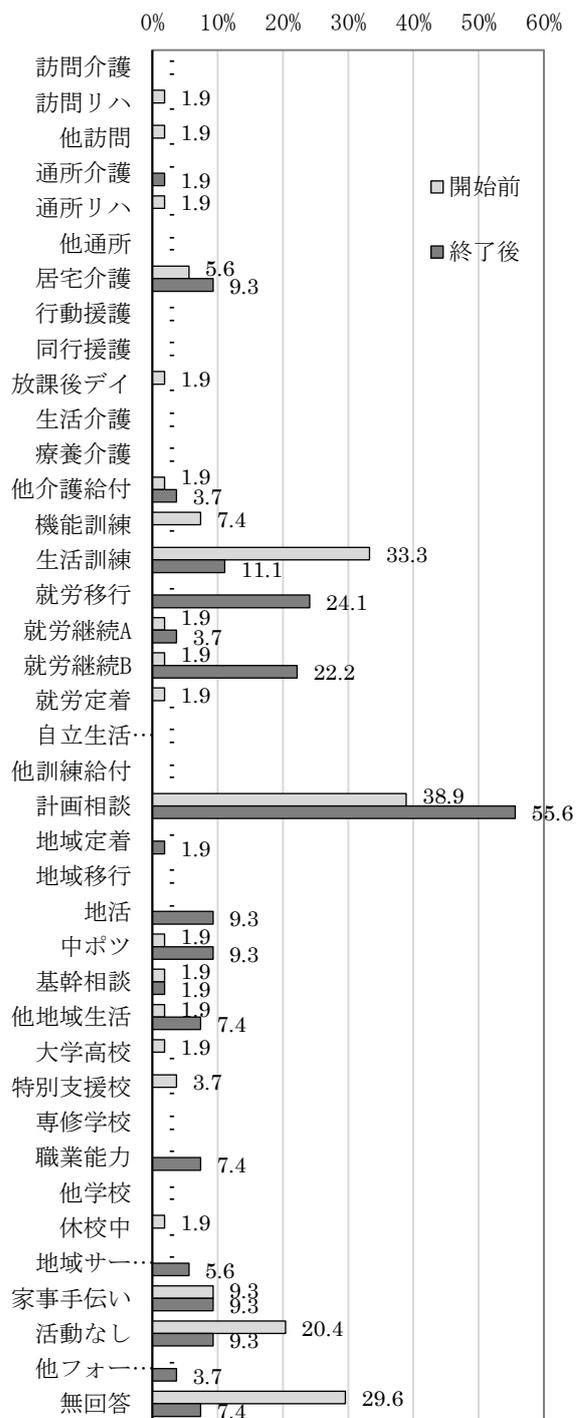


図18:社会参加の状況(n=54)

(3) 就労状況

就労状況では、訓練開始前は「無職」が 57.4%、「休職中」が 20.4%となっていたところ、訓練終了時には「無職」が 46.3%、「休職中」が 1.9%となり、「正規職員」が開始前 1.9%から終了時 16.7%と高くなっていた。(図 19)

なお、この就労状況における「訓練開始前」とは受傷・発症前の状況を指しており、受傷・発症を経て訓練を開始した段階での状況を指しているわけではないことに留意する必要がある。

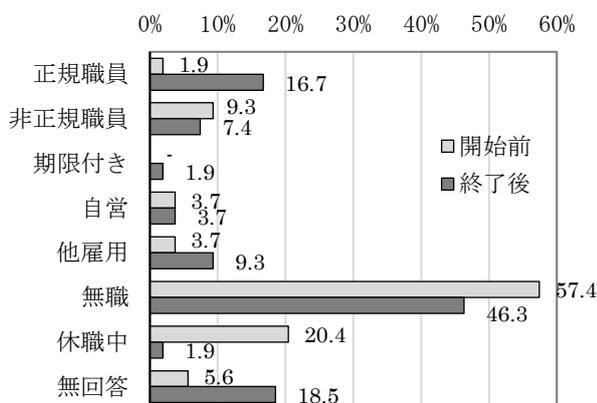


図 19: 就労状況 (n=54)

(4) 収入状況

収入状況について、訓練開始前後での年金などの収入状況をみると、「障害基礎年金」は訓練開始前の 24.1%から訓練終了後には 35.2%に上昇しており、「障害厚生年金」も訓練開始前の 13.0%から訓練終了後には 20.4%に上昇していた。(図 20)

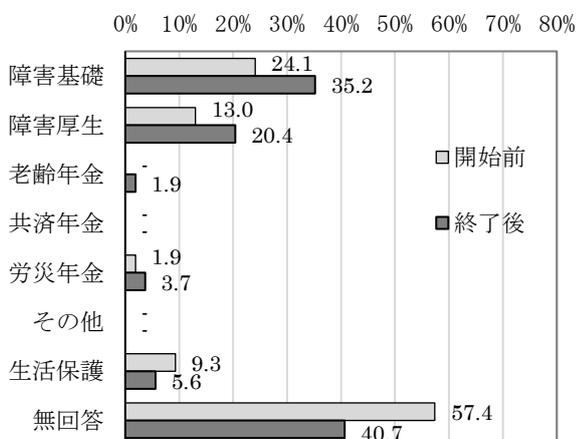


図 20: 年金など収入状況 (n=54)

また訓練開始前後での他の収入状況では、訓練開始前は「家族収入」が 31.5%、「傷病手当(雇用)」が 13.0%、「労働収入」「傷病手当金(健康)」がともに 9.3%という順になっていた。訓練終了後は「家族収入」は 24.1%、「傷病手当(雇用)」は 1.9%に、「傷病手当金(健康)」は 12.0%にそれぞれ減少していたが、その一方で、「労働収入」は訓練開始前 9.3%から訓練終了後 27.8%へと上昇しており、「その他賃金」も訓練開始前 0%から訓練終了後 11.1%へと上昇していた。(図 21)

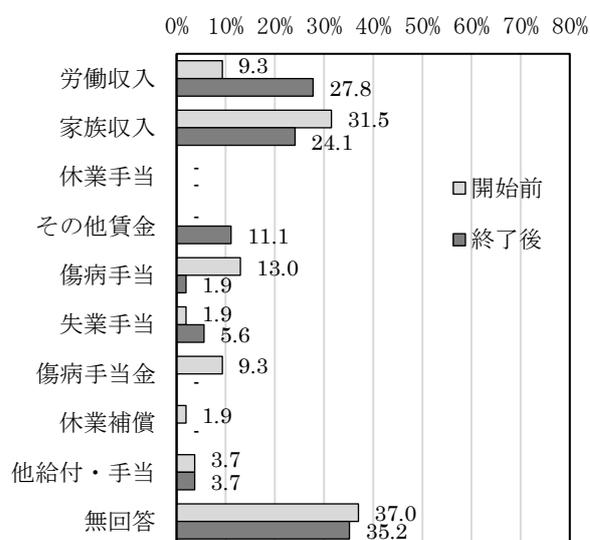


図 21: 他の収入状況 (n=54)

4. 評価指標調査結果

(1) 偏差値を用いた各指標の項目ごとの変化

本調査では、採点方法や得点の分布傾向の異なる複数の評価指標を比較するために、以下の数式にて偏差値を求め、それを基に分析した。

$$\frac{(\text{終了時平均値}) - \text{平均点} (\text{開始時平均値}) \times 10}{\text{標準偏差} (\text{開始時標準偏差})}$$

※0 を標準値とする(50 とない)

※WHO/QOL の一部の項目、WHO/DAS の全ての項目については、減点による評点であるため、分子を「開始時平均値－終了時平均値×10」とした。

また、標準偏差の縮小が、利用者が同じ環境である自立訓練を利用することによる変化であることも捉えられることから、標準偏差縮小率を参考値として分析した。偏差値がプラスとなっている場合に、標準偏差が縮小している場合（向上方向に集中している場合）は、より効果が認められたと捉えた。

※縮小率とは、開始時に対する終了時の数値の縮小した割合と指す。

1) 機能的自立度評価(FIM)

全体では、偏差値で 7.4 ポイントの向上があった。また、認知面が 9.1 ポイントと、大きく向上が見られ、具体的項目では「問題解決」の向上が最も大きく、次いで「社会的交流」「記憶」「表出」の順に向上があった。また、標準偏差縮小率を見ると、殆どの項目において向上が見られ、特に ADL に関する集中が顕著であった。(図 22)

実際の利得値では、合計値で 6.1 ポイント、認知合計が 4.0 ポイントであった。(図 23)

機能的自立度評価(FIM)

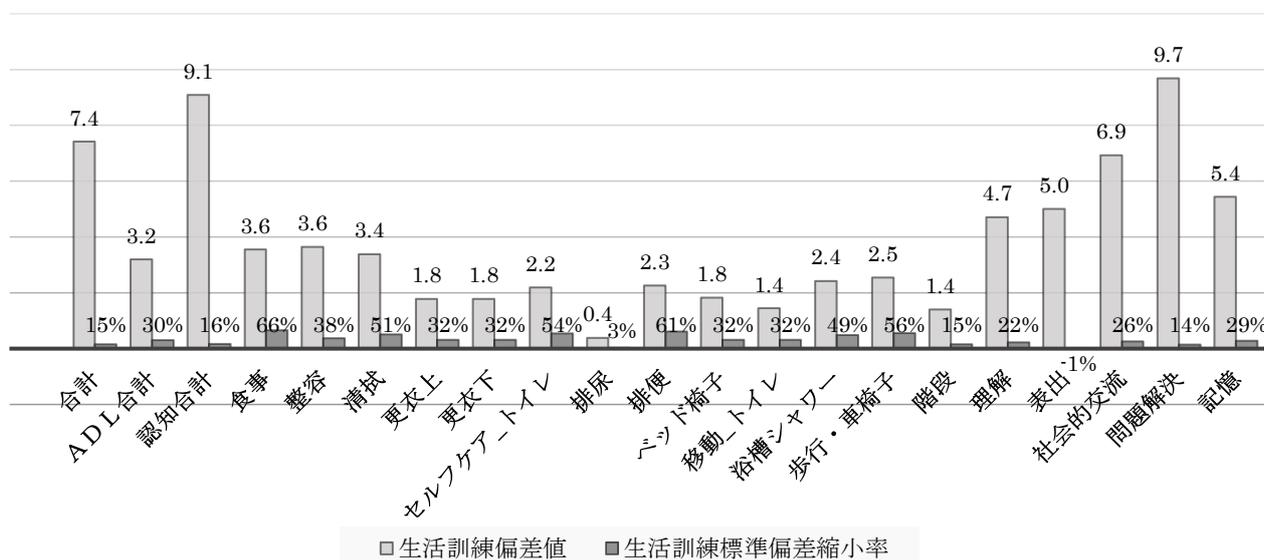


図 22:FIM 偏差値・標準偏差縮小率

FIM利得

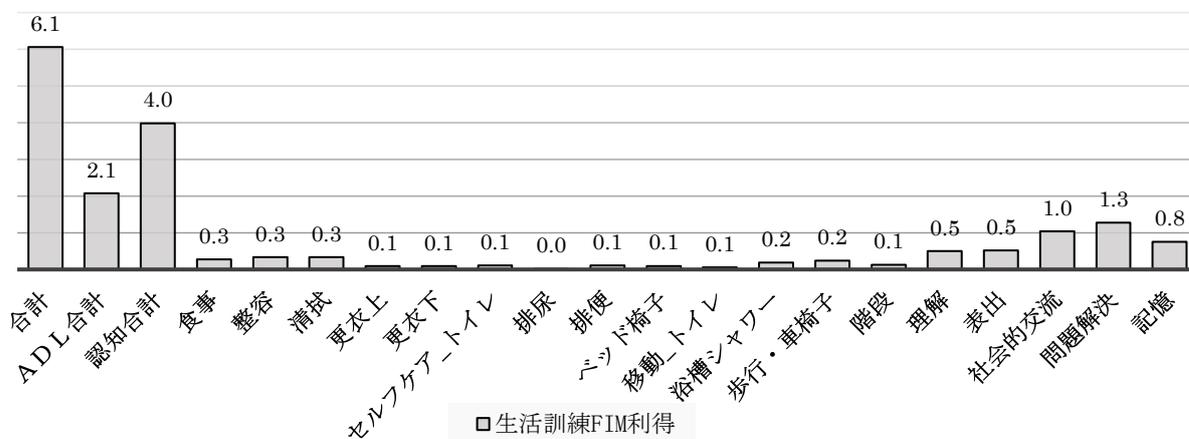


図 23:FIM 利得

2) 手段的日常生活活動(IADL)尺度

全体では 7.6 ポイントの向上があった。具体的項目では「食事の準備」が 5.7 ポイント、「服薬管理」が 5.6 ポイント、「買い物」が 5.5 ポイントと向上が最も大きく、次いで「財産管理」4.2 ポイントであった。IADL 尺度では、「食事の準備」「家事」「洗濯」が女性のみを対象とした項目であること

から、男性では「服薬管理」「買い物」の向上が最も大きかった。

標準偏差縮小率では、向上方向への集中が「財産管理」で大きく、次いで「移送の形式」であった。逆に幅の広がりがあったのは「食事の準備」であった。(図 24)

IADL尺度

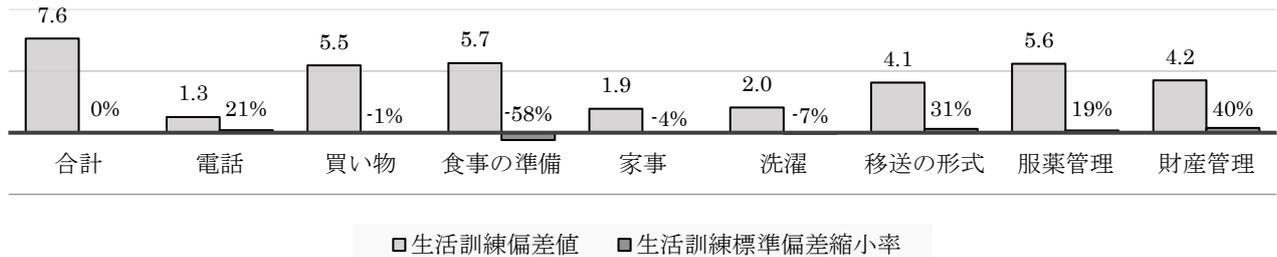


図 24:IADL 尺度偏差値・標準偏差縮小率

3) Recovery Assessment Scale (RAS)

全体では 15.0 ポイントの向上があった。具体的項目では「ストレス対処」が 14.2 ポイント、「生活設計」が 14.1 ポイントと最も大きく向上し、次いで「ハンディキャップ意識の低下」が 11.8 ポイント、「障害の負担感の低下」が 10.9 ポイントであった。

標準偏差縮小率では、改善方向へ集中した項目が多かったが、いくつかの項目に幅の広がりが見られた。(図 25)

なお、各項目の表現については表 1 の通り簡略化した。

原文	簡略化後の表現
1 生きがいがある	生きがい
2 不安があっても、自分のしたい生き方ができる	自己実現力
3 自分の人生で起ることは、自分で何とかできる	課題解決力
4 自分のことが好きだ	自己満足度
5 人々が自分のことをよく知ったら、好ましく思ってくれるだろう	人間関係への自信
6 自分がどんな人間になりたいかという考えがある	将来展望
7 自分の将来に希望を持っている	自己肯定感
8 いつも好奇心がある	好奇心
9 ストレスに対処することができる	ストレス対処
10 成功したいという強い願望がある	成功願望
11 元気でいたり、元気になつたりするための、自分なりの計画がある	生活設計
12 到達したい人生の目標がある	人生目標
13 現在の自分の目標を達成できると信じている	目標達成への自信
14 手助けを求めた方がよいのがどのような時か、知っている	援助依頼(必要性の判断)
15 手助けを求めてもかまわないと思う	援助依頼(積極性)
16 必要な時には、手助けを求める	援助依頼(実行力)
たとえ自分で自分のことを気にかけていなくても、他の人は私を気にかけてくれる	共生感
17 何か良いことが、いつかは起きるだろう	楽観性
18 頼りにできる人がいる	支援者の存在
たとえ自分のことを信じていない時でも、他の人が信じてくれる	他者との信頼関係
20 さまざまな友達を持つことは、大切なことだ	友人意識
22 精神の病気に対処することは、いまでは私の暮らしで最も重要なことではない	障害の重要度の低下
23 症状が私の生活の妨げとなることは、だんだん少なくなっている	ハンディキャップ意識の低下
24 私の症状が問題になる時間の長さは、毎回短くなっているようだ	障害の負担感の低下

表 1:RAS 原文の簡略化

Recovery Assessment Scale

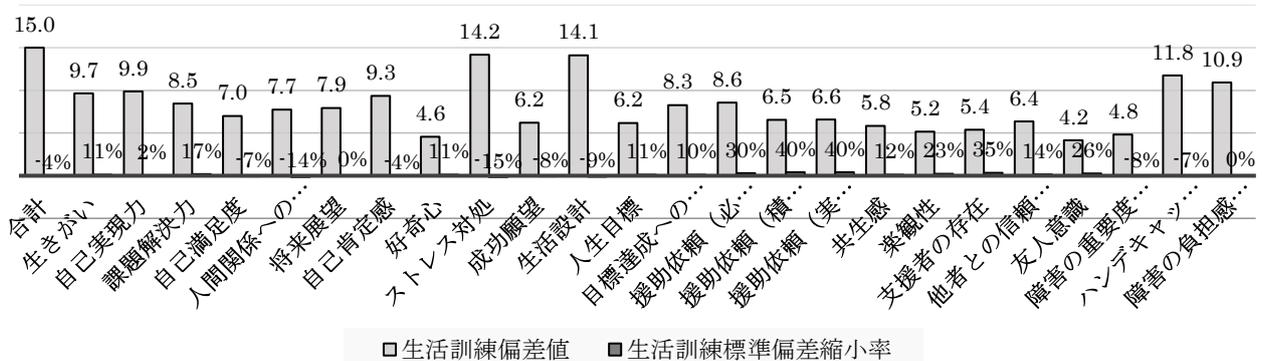


図 25:RAS 偏差値・標準偏差縮小率

4) WHO QOL 26

全体では 15.1 ポイントの向上があった。具体的項目では「生活の意義の実感」の向上が最も大きく 13.6 ポイント、次いで「領域Ⅱ心理的領域」が 12.6 ポイント、「生活への安全度」が 11.9 ポイント、「生活への活力」が 10.9 ポイントであった。

標準偏差縮小率では、向上方向へ集中した項目と幅の広がりがあった項目があった。(図 26)

なお、各項目の表現については表 2 の通り簡略化した。

原文	原文カテゴリ	簡略化後の表現
1 自分生活の質をどのよう評価しますか	全体	生活の質の評価
2 自分の健康状態に満足していますか	全体	健康状態の満足度
3 身体の痛みや不快感のせいで、しなければならないことがどのくらい制限されていますか	身体的領域	障害による活動制限の緩和
4 毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか	身体的領域	医療の必要度の軽減
5 毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	心理的領域	生活の充実度
6 毎日の生活をどのくらい意味あるものと感じていますか	心理的領域	生活の意義の実感
7 物事にどのくらい集中することができますか	心理的領域	集中力
8 毎日の生活はどのくらい安全ですか	環境	生活の安全度
9 あなたの生活環境はどのくらい健康的ですか	環境	健康的な生活環境
10 毎日の生活を送るための活力はありますか	身体的領域	生活する活力
11 自分や家族(外見)を誇り入れることができますか	心理的領域	外見(顔)の受容
12 必要なお金が足りないお金の持ちつきですか	環境	経済的余裕
13 毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることができますか	環境	情報を得る機会
14 余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	環境	余暇機会
15 家の周囲を出まわることがよくありますか	身体的領域	近隣外出の機会
16 睡眠は満足いくものですか	身体的領域	睡眠の満足度
17 毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	身体的領域	活動力の満足度
18 自分の仕事を完了する能力に満足していますか	身体的領域	労働力の満足度
19 自分自身に満足していますか	心理的領域	自己満足度
20 人間関係に満足していますか	社会的領域	人間関係満足度
21 性生活に満足していますか	社会的領域	性生活への満足度
22 友人たちの支えに満足していますか	社会的領域	友人への満足度
23 家と家のまわりの環境に満足していますか	環境	自宅環境満足度
24 社会生活や福祉サービスの利用が十分に満足していますか	環境	福祉満足度
25 近隣の交通の便に満足していますか	環境	移動環境満足度
26 気分がすくなくったり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんぱんに感じますか	心理的領域	心理的負担の軽減

表 2:WHOQOL 原文の簡略化

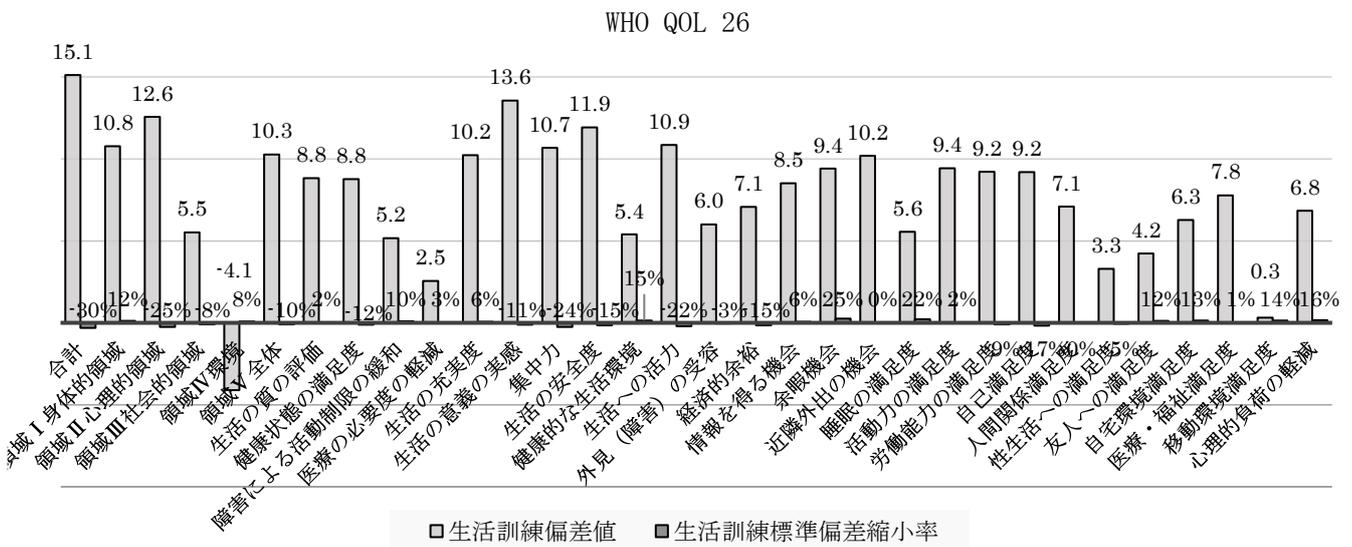


図 26:WFO/QOL 偏差値・標準偏差縮小率

5) WHODAS 2.0

単純合計では 11.9 ポイント、複雑合計 1 では 12.3 ポイント、複雑合計 2 では 11.5 ポイントの向上があった。具体的項目では「課題解決力」の向上が 11.2 ポイントと最も大きく、次いで「学習能力」が 10.2 ポイント、「集中力」が 8.4 ポイント、「コミュニケーション力」が 8.2 ポイントであった。

標準偏差縮小率では、殆どの項目で向上方向への集中が見られた。(図 27)

なお、各項目の表現については表 3 の通り簡略化した。

原文	原文カテゴリ	簡略化後の表現
1.1 何かをするとき、10分間集中する	認知	集中力
1.2 大切なことを覚えている	認知	記憶力
1.3 日常生活での問題を分析して解決法を見つける	認知	課題解決力
1.4 新しい課題、例えば初めての場所へ行く方法を学ぶ	認知	学習能力
1.5 みんなが言っていることを、普通に理解する	認知	理解力
1.6 自ら会話を始めたり続けたりする	認知	会話能力
2.1 長時間(30分くらい)立っている	運動性	立位能力
2.2 歩いているところから立ち上がる	運動性	立ち上がり
2.3 車の中で歩回	運動性	車内移動能力
2.4 家の外に出る	運動性	屋外近距離移動
2.5 1kmほどの長距離を歩く	運動性	屋外遠距離移動
3.1 食事を煮る	セルフケア	活動力(洗体)
3.2 自分で食事を煮る	セルフケア	活動力(理容)
3.3 食事を食べる	セルフケア	活動力(食事)
3.4 毎日一人で過ごす	セルフケア	身辺自立度
4.1 見知らぬ人に応対する	他者交流	コミュニケーション力
4.2 人間関係を築く	他者交流	交友関係性
4.3 知らない人と交流をする	他者交流	身近な人との交流
4.4 新しい友人を作る	他者交流	新しい友人を作る
4.5 性行為をする	他者交流	性行為
5.1 家庭で要求される作業を行う	日常生活	家庭での役割
5.2 最も大切な家事をこなす	日常生活	家事活動(計画)
5.3 なすべし全ての家事労働を片付ける	日常生活	家事活動(自立度)
5.4 必要に応じてできるだけ早く家事労働を終わらせる	日常生活	家事活動(効率性)
5.01 健康状態により、過去30日間に何日くらい、家事労働を減らしたり、または休んだりしましたか(日数)	日常生活	活動制限(家事)の改善
5.5 毎日の仕事をすらすら学校へ行く	日常生活	仕事/学校(参加)
5.6 最も大切な仕事/学校の課題をすらすらこなす	日常生活	仕事/課題(習熟)
5.7 なすべし全ての仕事を済ます	日常生活	仕事(自立度)
5.8 必要に応じてできるだけ早く仕事を済ます	日常生活	仕事(効率性)
5.9 健康状態のために、仕事の量や質を下げた働きませんでしたか	日常生活	仕事の量・質の向上
5.10 健康状態の結果として、収入が少なくなりましたか	日常生活	収入の改善
5.02 健康状態により、過去30日間に何日くらい、半日以上仕事を休みましたか(日数)	日常生活	仕事の従事日数の向上
6.1 誰もができていけいけで地域社会の活動に加わるのに、どのくらい問題がありましたか	社会参加	地域活動参加
6.2 知人のいけいけや結婚のため、どれくらい問題がありましたか	社会参加	理容(女性/理容)の改善
6.3 他人の態度や行為のため、自分らしさを保つて生きていくのに、どのくらい問題がありましたか	社会参加	環境因子(人的/社会的)の改善
6.4 健康状態やその他の改善のために、どれくらい時間をかける必要がありましたか	社会参加	健康改善
6.5 健康状態のために、あなたや家族に、どのくらい経済的損失をもたらしましたか	社会参加	心理的負担の改善
6.6 あなたの健康状態は、あなたや家族に、どのくらい経済的損失をもたらしましたか	社会参加	経済状態の改善
6.7 あなたの健康状態により、家族はどれくらい大きな問題を抱えましたか	社会参加	家族の負担軽減
6.8 リラクゼーションが、楽しんだりするために、自分で何かを行うのに、どのくらい問題がありましたか	社会参加	余暇生活
H1 健康状態により、過去30日間に何日くらい、こうした難しさがありましたか(日数)	日常生活	全体的な困難の軽減
H2 健康状態のために、過去30日間に何日くらい、通常の活動や仕事ができなくなりましたか(日数)	日常生活	活動・労働不能状態の改善
H3 健康状態により、過去30日間に何日くらい、通常の活動や仕事を、途中で止めたりするのは減らしたりしましたか(日数)	日常生活	活動・労働不能状態の改善

表 3:WHO/DAS 原文の簡略化

WHO DAS 2.0

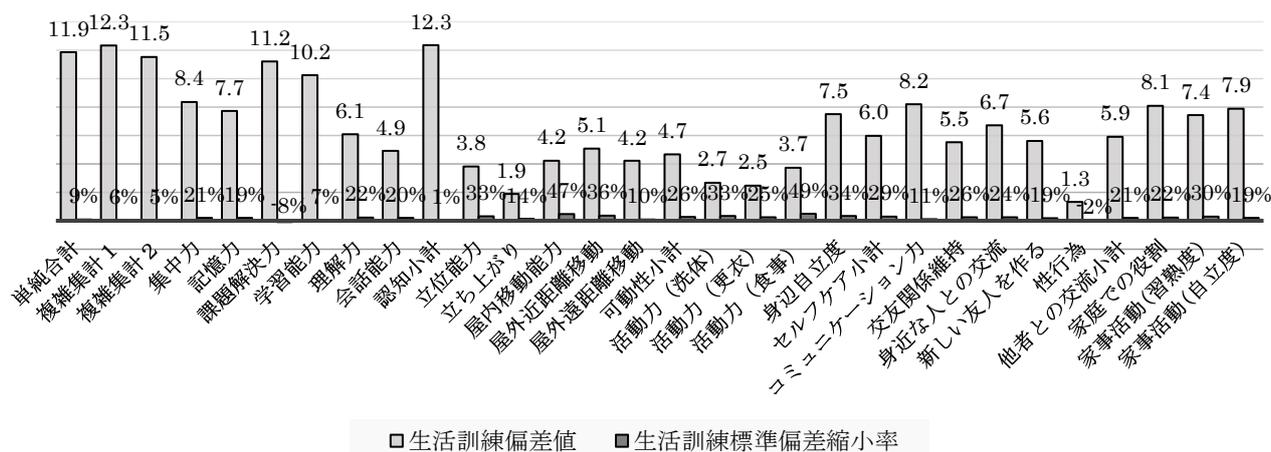


図 27:WHO/DAS 偏差値・標準偏差縮小率

6) Life Space Assessment (LSA)

10.0 ポイントの向上があり、移動、行動範囲の広がりが認められた。

標準偏差縮小率はほとんど変わらなかった。(図 28)

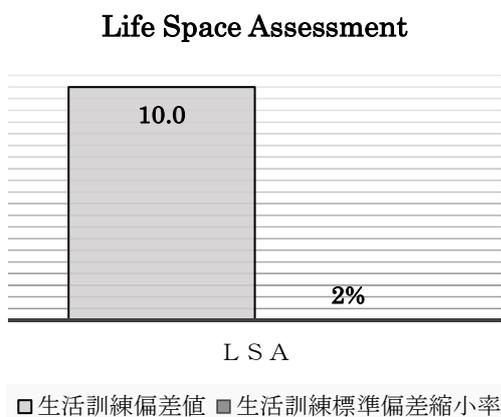


図 28:LSA 偏差値・標準偏差縮小率

7) 実用的歩行能力分類

5.2 ポイントの向上があり、歩行能力の向上が認められた。

標準偏差縮小率では、僅かに向上方向への集中が見られた。(図 29)

実用的歩行能力分類

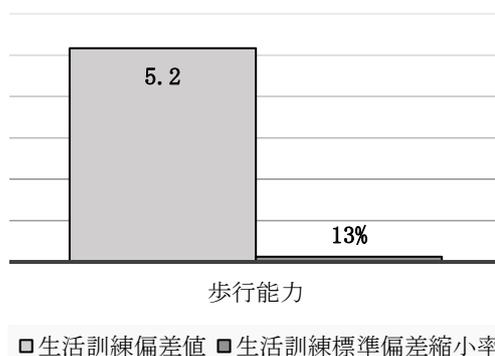


図 29:実用的歩行能力偏差値・標準偏差縮小率

(2) 評価指標ごとの変化の比較

評価指標ごとの変化の比較では、WHO/QOL が 15.1 ポイント、RAS が 15.0 ポイントと最も変化が認められ、その次に WHO/DAS が 11.9 ポイント、LSA が 10.0 ポイント、FIM が 7.4 ポイント、実用的歩行能力分類が 5.2 ポイントであった。

一方で、「WHO/QOL 領域IV環境」において、-4.1 の低下がみられた。(図 30) また、標準偏差縮小率では、WHO/QOL に大きく広がりが見られ、「領域II 心理的領域」に顕著であった。(図 31)

評価指標の偏差値比較

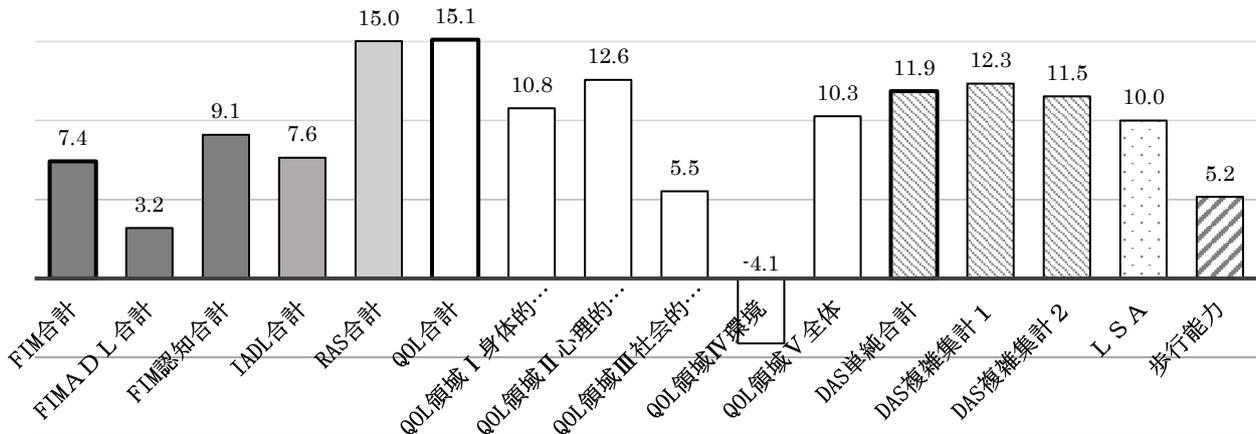


図 30: 評価指標偏差値比較

すべての項目の標準偏差縮小率比較

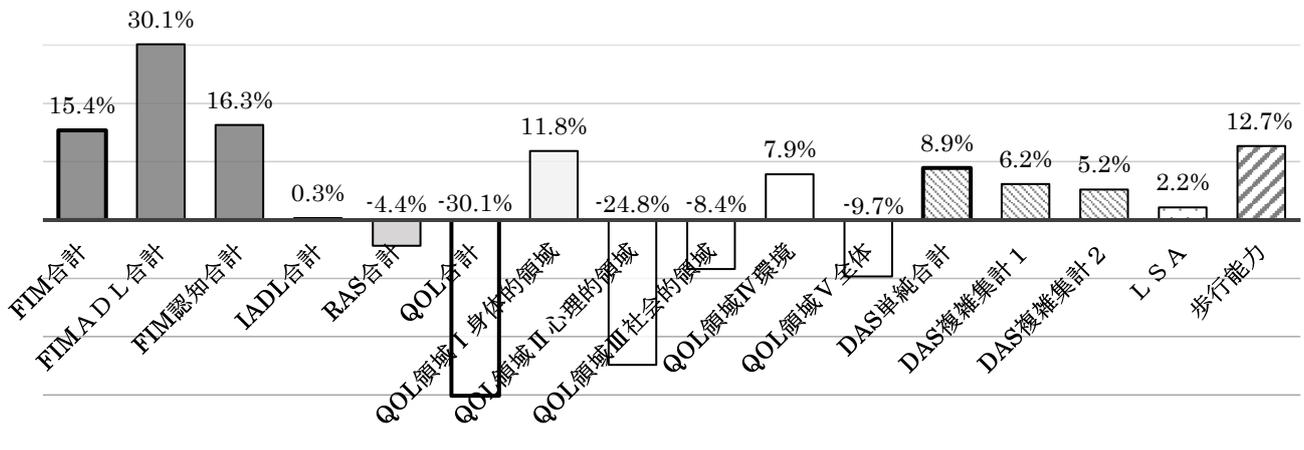


図 31: 項目標準偏差縮小率比較

これらのことから、WHO/QOL に効果のばらつきがあるものの、自立訓練（生活訓練）の利用開始時と終了時の比較では、調査対象としたいずれの評価指標によっても向上が確認できた。

「参加（地域生活）」が 7.2 ポイント、「健康状態（身体）」「健康状態（精神）」が 6.2 ポイントであった。（図 32）

(3) ICF に基づいたカテゴリーごとの変化の比較

評価指標の各項目について ICF の概念に基づきカテゴライズを試み（表 4）、それを基にカテゴリー間で変化の程度を比較した。

その結果、「参加（就労・就学）」が 8.4 ポイント、「認知機能」が 7.83 ポイントと変化が最も顕著であった。次いで「環境因子」が 7.4 ポイント、

カテゴリー別 偏差値平均比較

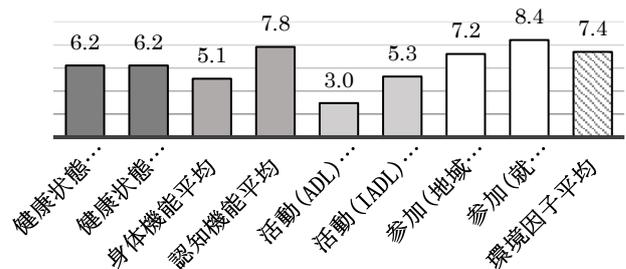


図 32: カテゴリー別偏差値平均比較

ICF	健康状態		心身機能・身体構造		活動		参加		環境因子	個人因子
	身体面	精神面	身体面	認知面	ADL	IADL	地域生活	就労・就学		
FIM				理解	食事					
				表出	整容					
				社会的交流	清拭					
				問題解決	更衣上					
				記憶	更衣下					
					セルフケア_トイレ					
					排尿					
					排便					
					ベッド椅子					
					移動_トイレ					
					浴槽シャワー					
				歩行・車椅子						
				階段						
IADL尺度						電話				
						買い物				
						食事の準備				
						家事				
						洗濯				
						移送の形式				
						服薬管理				
						財産				
RAS		生きがい						自己実現力		
		自己満足度						課題解決力		
		将来展望						人間関係への自信		
		自己肯定感						生活設計		
		好奇心						人生目標		
		ストレス対処						援助依頼(必要性の判断)		
		成功願望						援助依頼(積極性)		
		目標達成への自信						援助依頼(実行力)		
		楽観性						支援者の存在		
		障害の重要度の低下						他者との信頼関係		
		ハンデキャップ意識の低下						友人意識		
	障害の負担感の低下									
		共生感								
WHO/QOL	医療の必要度	生活の充実度	活動制限の緩和	集中力			情報を得る機会	労働能力の満足度	生活の安全度	
	睡眠の満足度	生活の意義	活動力の満足度	生活する活力			余暇機会		健康的な生活環境	
	健康状態の満足度	外見(障害)の受容					近隣外出の機会		自宅環境満足度	
		自己満足度					人間関係満足度		移動環境満足度	
		心理的負荷の軽減					性生活への満足度		経済的余裕	
						友人への満足度		医療・福祉満足度		
WHO/DAS	健康改善	心理的影響の改善	立位能力	集中力	屋内移動能力	身辺自立度	交友関係維持	仕事/学校(参加)	疎外因子の改善	
			立ち上がり	記憶力	屋外近距離移動	家事活動(習熟度)	身近な人との交流	仕事/課題(習熟)	人的疎外因子の改善	
				課題解決力	屋外遠距離移動	家事活動(自立度)	新しい友人を作る	仕事(自立度)	家族の負担軽減	
				学習能力	活動力(洗体)	家事活動(効率性)	性行為	仕事(効率性)	全体的な困難の軽減	
				理解力	活動力(更衣)	活動制限(家事)の改善	家庭の役割	仕事の量・質の向上	経済状態の改善	
				会話能力	活動力(食事)		地域活動参加	収入の改善		
					コミュニケーション力		余暇生活	仕事の従事日数の向上		
							活動・労働不能状態の改善	活動・労働不能状態の改善		
						活動・労働不能状態の改善	活動・労働不能状態の改善			
LSA							外出			
実用的歩行能力						歩行(移動)				

表 4: ICF を基にした評価指標項目のカテゴリズ

これらのことから、自立訓練（生活訓練）の利用開始時と終了時では、いずれのカテゴリーでも向上していることが確認でき、特に、就労・就学の力や認知機能の向上が顕著であることが確認できた。更に、各カテゴリーの中での項目の変化を見る

と、健康状態では、「ストレス対処」が 14.2 ポイントと最も多く、「生活の意義の実感」が 13.6 ポイントと最も高く、次いで「ハンディキャップ意識の低下」 11.8 ポイント、「障害の負担感の低下」 10.9、「生活の充実度」 10.2 ポイントと精神面での

高い向上が認められた。心身機能・身体構造でも、「課題解決力」が 11.2 ポイント、「生活する活力」が 10.9 ポイント、「集中力」が 10.7 ポイントと高く、認知面の向上や活動性の高まりとともに、ストレス耐性の高まりや充実感の高まりが窺えた。

また、活動や参加を見ると、地域生活の「生活設計」が 14.1 ポイントと飛びぬけて高く、「自己実現力」が 9.9 ポイントと、将来展望を前向きに描いている状態が窺えた。また、「近隣外出の機会」が 10.2 ポイント、「外出」が 10.0 ポイントと移動能力の高まりや行動範囲の拡大が見られる他、余暇や家庭での役割に関することや、人との交流に関する事でもポイントが高く、社会生活面での全般的な向上が見られた。

これらのことから、自立訓練(生活訓練)の利用後に社会生活力が大きく向上していることが確認できた。

また、就労・就学においては、「仕事(自力度)」の 12.4 ポイントをはじめ、全般的に大きく向上していることから、就労・就学についても、自立訓練(生活訓練)の利用後にプラスの変化があることが分かった。

更に、環境要因についてもプラスの変化が大きく見られた。

なお、当然ながら「健康状態(精神)」の評価項目のすべてが主観評価であり、「参加(地域生活)」、「参加(就労・就学)」の殆どが、主観評価又は「主観/客観評価」(本人に客観的事実を問うもの)であった。また、「コミュニケーション力」等「活動(ADL)」で最も変化の大きい指標は「主観/客観評価」であった。(図 33)

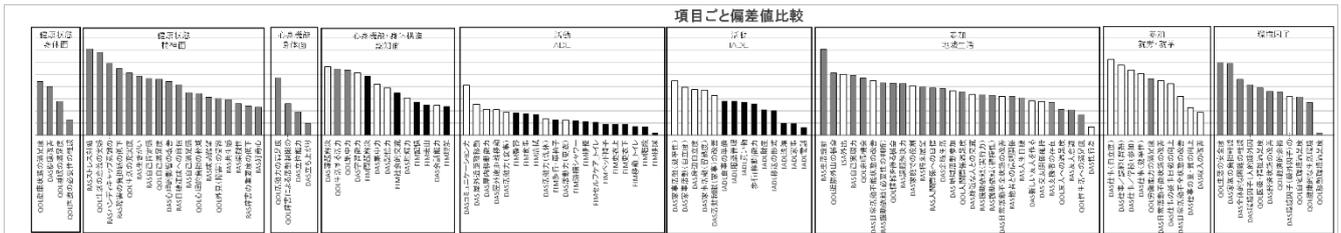
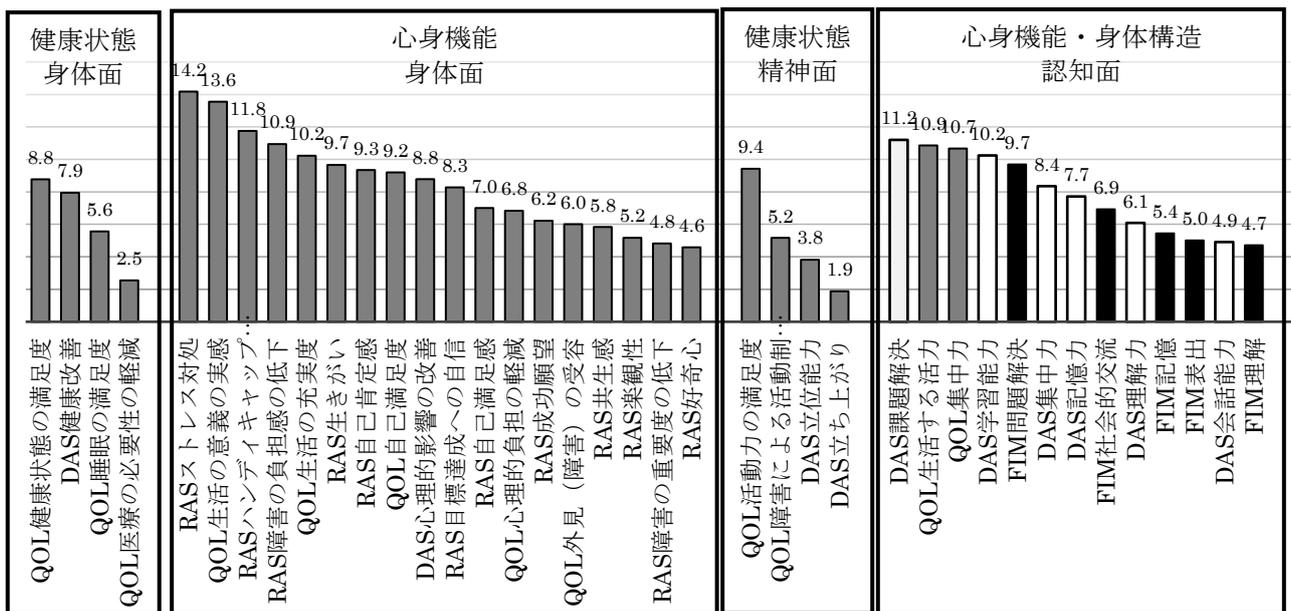
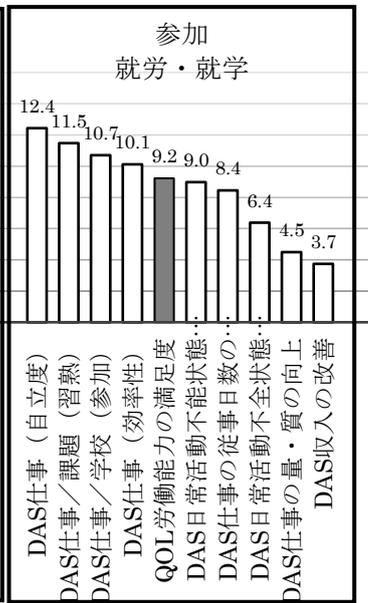
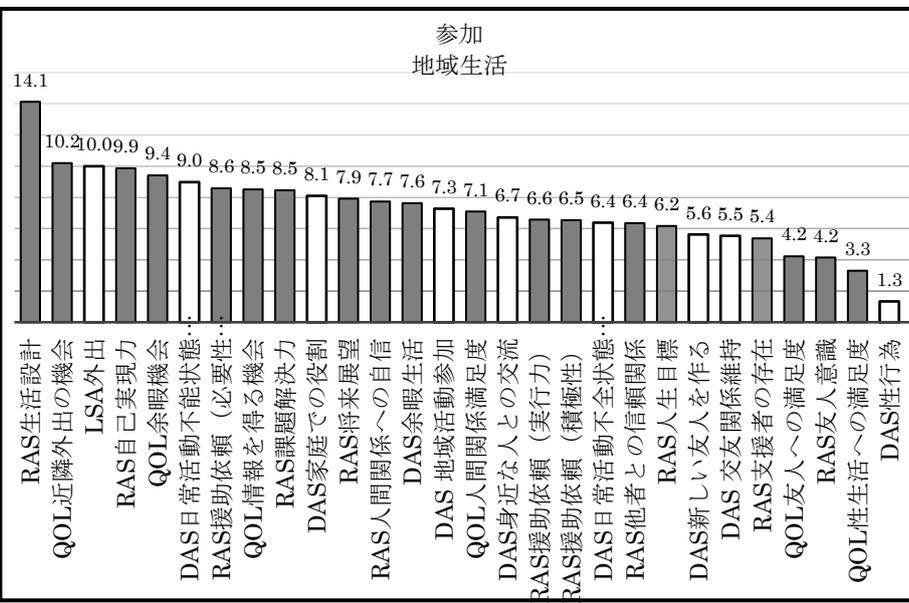
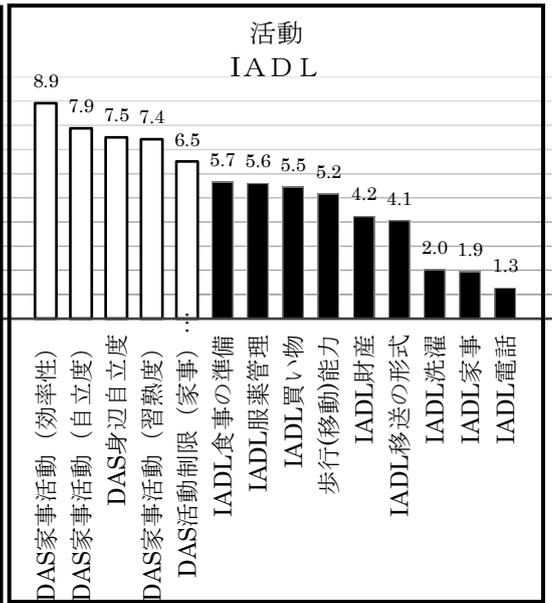
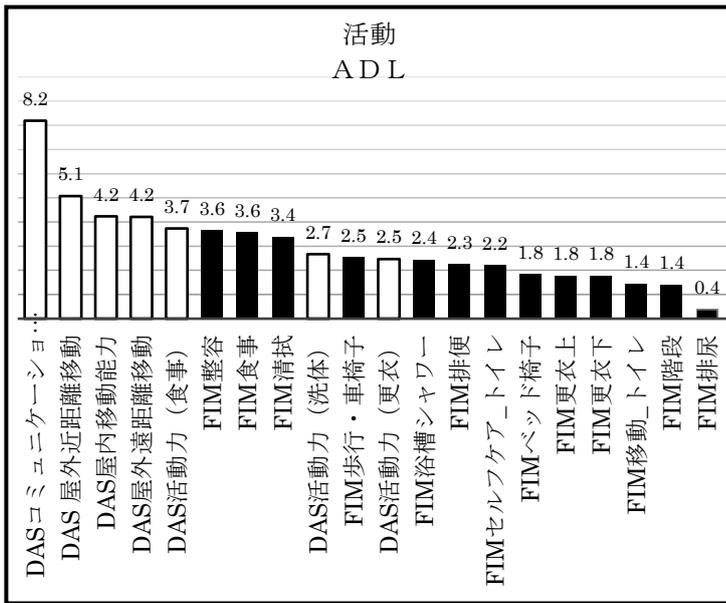
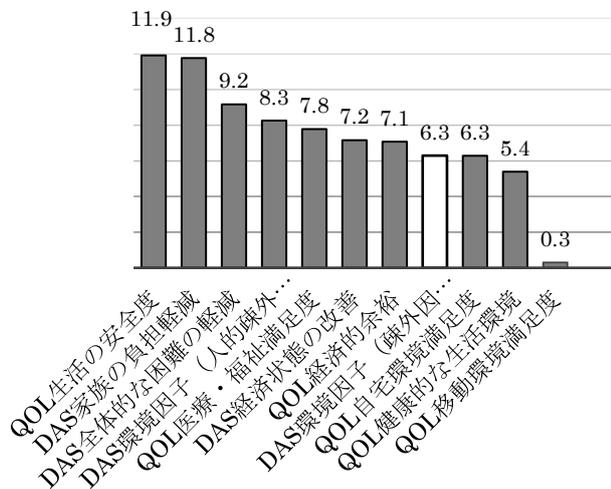


図 33:項目ごと偏差値比較





環境因子



棒グラフ：黒…客観評価、グレー…主観評価、白…客観/主観評価

5. 結論

以上のことから、今回の調査で、自立訓練(生活訓練)の利用後に、利用者の精神面、日常生活や社会生活面で大きく向上・改善されていることが明らかとなった。

特に、課題解決力、活力、集中力等の認知面や精神活動、生活設計や外出、余暇活動、対人関係づくり、支援の依頼等の社会生活力や就労面において

プラスの変化が認められたことから、ICF で言う「活動」や「参加」の変化、「活動力」「認知機能」などの「心身機能・身体構造」の変化が、生活の充実感や、生活することの意義の実感等、精神面での「健康状態」の変化をもたらしていることが推測される。

そうしたことから、様々なプログラム・支援を利用者に提供する自立訓練（生活訓練）の利用効果の高さを推測することができる。

一方で、今回調査した評価指標には、FIM、IADL 尺度、実用的歩行能力分類といった客観的評価指標と、RAS や WHO/QOL、WHO/DAS 等の被験者の回答による評価指標があったが、FIM 等では、客観性はあるものの変化の大きかった「参加（地域生活）」、「参加（就労・就学）」を含んでおらず、それらを包含している WHO/DAS 等では、客観的評価とはなりにくい部分があった。

また、RAS に見られるような「自分のしたい生き方ができる」等の項目については、内面的変化そのものは客観的事実であり評価の対象となりうるものの、どのような訓練・支援が結果をもたらしたかという実施した訓練や支援と成果の因果関係を説明することは難しい。

帰結状況等から推論しても、訓練・支援と利用者の変化との関連性が強いことは予想されるものの、これらの評価結果をそのまま自立訓練(生活訓練)の利用効果であるとするには難しく、自立訓練(生活訓練)の評価指標の確立という点からは、更なる研究が必要である。

6. 考察（令和3年度の研究に向けて）

- ・今回が、試験調査が、被験者の回想や過去の記録に基づいた調査であったため、利用時と終了時の正確な状況を捉えたものとは言えないものの、調査した全ての評価指標から、自立訓練（生活訓練）の利用前後のプラスの変化を捉えることができたことから、自立訓練（生活訓練）の利用意義の高さが推論できた。
- ・効果は、利用者の認知面、日常生活や社会参加、就労といった社会生活全般に及んでおり、それらの変化が、生活の質や精神状態に変化をもたらしていることが推測できた。
- ・また、認知面の変化についても、日常生活や社会生活上の変化として現れることから、それらの評価指標に効果が反映できると考える。
- ・そのことから、自立訓練（生活訓練）の評価指標においては、ADL、IADL、社会生活力、就労を測る評価指標が必要であると考えられる。
- ・ADL、IADL の評価は既存の評価指標が活用できると思われる。
- ・就労については、目的達成が明確なため、利用終了後の進路（帰結状況）による評価も可能と思われる。
- ・社会生活力の評価指標では、FIM、IADL 尺度、実用的歩行能力分類等では評価できず、RAS、WHO/QOL、WHO/DAS でも訓練・支援の成果としては直接的に評価できないため、それらの単純活用又は組み合わせのみでは難しい。
- ・本調査の評価指標を研究する中で、社会生活力を客観的に測ることのできる独自の評価指標を考案することが望ましい。

資料：生活訓練 項目別統計データ

■ FIM

○生活訓練

合計

変数	開始時	終了時
n	54	54
平均	111.963	118.019
不偏分散	66.678	47.754
標準偏差	8.166	6.91
最小値	88	89
最大値	126	126

利得

6.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 7.42
標準偏差縮小率 15.4%

ADL合計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	86.722	88.796
不偏分散	42.091	20.543
標準偏差	6.488	4.532
最小値	64	70
最大値	91	91

2.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.20
標準偏差縮小率 30.1%

認知合計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	25.241	29.222
不偏分散	19.167	13.421
標準偏差	4.378	3.664
最小値	17	19
最大値	35	35

4.0

1 一計算上の数値

仮想偏差値 9.09
標準偏差縮小率 16.3%

食事

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.648	6.926
不偏分散	0.61	0.07
標準偏差	0.781	0.264
最小値	3	6
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.56
標準偏差縮小率 66.2%

整容

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.37	6.704
不偏分散	0.841	0.326
標準偏差	0.917	0.571
最小値	3	5
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.64
標準偏差縮小率 37.7%

清拭

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.481	6.815
不偏分散	0.971	0.229
標準偏差	0.986	0.479
最小値	3	5
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.39
標準偏差縮小率 51.4%

更衣上

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.815	6.907
不偏分散	0.267	0.123
標準偏差	0.517	0.351
最小値	5	5
最大値	7	7

0.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 1.78
標準偏差縮小率 32.1%

更衣下

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.815	6.907
不偏分散	0.267	0.123
標準偏差	0.517	0.351
最小値	5	5
最大値	7	7

0.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 1.78
標準偏差縮小率 32.1%

セルフケア トイレ

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.833	6.944
不偏分散	0.255	0.053
標準偏差	0.505	0.231
最小値	4	6
最大値	7	7

0.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.20
標準偏差縮小率 54.3%

排尿

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.889	6.907
不偏分散	0.214	0.199
標準偏差	0.462	0.446
最小値	4	4
最大値	7	7

0.0

1 一計算上の数値

仮想偏差値 0.39
標準偏差縮小率 3.5%

排便

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.852	6.963
不偏分散	0.242	0.036
標準偏差	0.492	0.191
最小値	4	6
最大値	7	7

0.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.26
標準偏差縮小率 61.2%

ベッド椅子

	開始時	終了時
n	53	53
平均	6.811	6.906
不偏分散	0.271	0.126
標準偏差	0.521	0.354
最小値	5	5
最大値	7	7

0.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 1.82
標準偏差縮小率 32.1%

移動_トイレ

	開始時	終了時
n	53	53
平均	6.868	6.925
不偏分散	0.155	0.071
標準偏差	0.394	0.267
最小値	5	6
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.45
標準偏差縮小率 32.2%

浴槽シャワー

	開始時	終了時
n	53	53
平均	6.679	6.868
不偏分散	0.607	0.155
標準偏差	0.779	0.394
最小値	3	5
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.43
標準偏差縮小率 49.4%

歩行・車椅子

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.537	6.778
不偏分散	0.895	0.176
標準偏差	0.946	0.42
最小値	2	6
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.55
標準偏差縮小率 55.6%

階段

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.5	6.63
不偏分散	0.858	0.615
標準偏差	0.927	0.784
最小値	3	3
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.40
標準偏差縮小率 15.4%

理解

	開始時	終了時
n	54	54
平均	5.685	6.185
不偏分散	1.125	0.682
標準偏差	1.061	0.826
最小値	3	4
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.71
標準偏差縮小率 22.1%

表出

	開始時	終了時
n	54	54
平均	5.611	6.13
不偏分散	1.072	1.096
標準偏差	1.036	1.047
最小値	3	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.01
標準偏差縮小率 -1.1%

社会的交流

	開始時	終了時
n	54	54
平均	4.722	5.759
不偏分散	2.242	1.243
標準偏差	1.497	1.115
最小値	1	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.93
標準偏差縮小率 25.5%

問題解決

	開始時	終了時
n	54	54
平均	4.185	5.463
不偏分散	1.739	1.272
標準偏差	1.319	1.128
最小値	1	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.69
標準偏差縮小率 14.5%

記憶

	開始時	終了時
n	54	53
平均	5.037	5.792
不偏分散	1.923	0.975
標準偏差	1.387	0.988
最小値	2	3
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.44
標準偏差縮小率 28.8%

	合計	ADL合計	認知合計	食事	整容	清拭	更衣上	更衣下	セルフケア_トイレ	排尿	排便
生活訓練偏差値	7.4	3.2	9.1	3.6	3.6	3.4	1.8	1.8	2.2	0.4	2.3
生活訓練標準偏差縮小率	15%	30%	16%	66%	38%	51%	32%	32%	54%	3%	61%
生活訓練FIM利得	6.1	2.1	4.0	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1

	ベッド椅子	移動_トイレ	浴槽シャワー	歩行・車椅子	階段	理解	表出	社会的交流	問題解決	記憶
生活訓練偏差値	1.8	1.4	2.4	2.5	1.4	4.7	5.0	6.9	9.7	5.4
生活訓練標準偏差縮小率	32%	32%	49%	56%	15%	22%	-1%	26%	14%	29%
生活訓練FIM利得	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	0.5	1.0	1.3	0.8

■IADL尺度

○生活訓練

合計

	開始時	終了時
n	53	53
平均	3.943	5.245
不偏分散	2.901	2.881
標準偏差	1.703	1.697
最小値	1	2
最大値	8	8

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.64
標準偏差縮小率 0.3%

電話

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.906	0.943
不偏分散	0.087	0.054
標準偏差	0.295	0.233
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.28
標準偏差縮小率 20.9%

買い物

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.358	0.623
不偏分散	0.234	0.239
標準偏差	0.484	0.489
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.46
標準偏差縮小率 -1.1%

食事の準備

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.075	0.226
不偏分散	0.071	0.179
標準偏差	0.267	0.423
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.66
標準偏差縮小率 -58.4%

家事

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.358	0.453
不偏分散	0.234	0.253
標準偏差	0.484	0.503
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.95
標準偏差縮小率 -3.8%

洗濯

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.302	0.396
不偏分散	0.215	0.244
標準偏差	0.463	0.494
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.04
標準偏差縮小率 -6.5%

移送の形式

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.698	0.887
不偏分散	0.215	0.102
標準偏差	0.463	0.320
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.07
標準偏差縮小率 31.0%

服薬管理

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.509	0.792
不偏分散	0.255	0.168
標準偏差	0.505	0.409
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.61
標準偏差縮小率 18.9%

財産

	開始時	終了時
n	53	53
平均	0.736	0.925
不偏分散	0.198	0.071
標準偏差	0.445	0.267
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.24
標準偏差縮小率 40.1%

	合計	電話	買い物	食事の準備	家事	洗濯	移送の形式	服薬管理	財産管理
生活訓練偏差値	7.6	1.3	5.5	5.7	1.9	2.0	4.1	5.6	4.2
生活訓練標準偏差縮小率	0%	21%	-1%	-58%	-4%	-7%	31%	19%	40%

■RAS

○生活訓練

合計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	65.074	83.222
不偏分散	145.957	159.119
標準偏差	12.081	12.614
最小値	38	41
最大値	91	117

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 15.02
標準偏差縮小率 -4.4%

生きがい

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.611	3.519
不偏分散	0.884	0.707
標準偏差	0.94	0.841
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.66
標準偏差縮小率 10.5%

自己実現力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.574	3.444
不偏分散	0.777	0.742
標準偏差	0.882	0.861
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.86
標準偏差縮小率 2.4%

課題解決力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.463	3.296
不偏分散	0.97	0.665
標準偏差	0.985	0.816
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.46
標準偏差縮小率 17.2%

自己満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.352	2.963
不偏分散	0.761	0.867
標準偏差	0.872	0.931
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.01
標準偏差縮小率 -6.8%

人間関係への自信

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.426	3
不偏分散	0.551	0.717
標準偏差	0.742	0.847
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.74
標準偏差縮小率 -14.2%

将来展望

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.63	3.389
不偏分散	0.917	0.921
標準偏差	0.958	0.96
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.92
標準偏差縮小率 -0.2%

自己肯定感

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.352	3.167
不偏分散	0.761	0.821
標準偏差	0.872	0.906
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.35
標準偏差縮小率 -3.9%

好奇心

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.907	3.389
不偏分散	1.104	0.884
標準偏差	1.051	0.94
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.59
標準偏差縮小率 10.6%

ストレス対処

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.074	3.204
不偏分散	0.636	0.845
標準偏差	0.797	0.919
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 14.18
標準偏差縮小率 -15.3%

成功願望

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.815	3.444
不偏分散	1.022	1.195
標準偏差	1.011	1.093
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.22
標準偏差縮小率 -8.1%

生活設計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.315	3.537
不偏分散	0.748	0.895
標準偏差	0.865	0.946
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 14.13
標準偏差縮小率 -9.4%

人生目標

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.833	3.519
不偏分散	1.236	0.971
標準偏差	1.112	0.986
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.17
標準偏差縮小率 11.3%

目標達成への自信

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.63	3.5
不偏分散	1.106	0.896
標準偏差	1.051	0.947
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.28
標準偏差縮小率 9.9%

援助依頼（必要性の判断）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.815	3.759
不偏分散	1.21	0.601
標準偏差	1.1	0.775
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.58
標準偏差縮小率 29.5%

援助依頼（積極性）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.333	3.981
不偏分散	0.981	0.358
標準偏差	0.991	0.598
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.54
標準偏差縮小率 39.7%

援助依頼（実行力）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.333	4.056
不偏分散	1.208	0.431
標準偏差	1.099	0.656
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.58
標準偏差縮小率 40.3%

共生感

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3	3.556
不偏分散	0.906	0.704
標準偏差	0.952	0.839
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.84
標準偏差縮小率 11.9%

楽観性

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.222	3.796
不偏分散	1.233	0.731
標準偏差	1.11	0.855
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.17
標準偏差縮小率 23.0%

支援者の存在

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.389	4.019
不偏分散	1.374	0.585
標準偏差	1.172	0.765
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.38
標準偏差縮小率 34.7%

他者との信頼関係

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.667	3.259
不偏分散	0.868	0.648
標準偏差	0.932	0.805
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.35
標準偏差縮小率 13.6%

友人意識

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.426	3.907
不偏分散	1.343	0.727
標準偏差	1.159	0.853
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.15
標準偏差縮小率 26.4%

障害の重要度の低下

	開始時	終了時
n	43	43
平均	2.698	3.163
不偏分散	0.93	1.092
標準偏差	0.964	1.045
最小値	1	1
最大値	5	5

↑ 計算上の数値

仮想偏差値 4.82
標準偏差縮小率 -8.4%

ハンデキャップ意識の低下

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.333	3.519
不偏分散	1.019	1.16
標準偏差	1.009	1.077
最小値	1	1
最大値	5	5

↑ 計算上の数値

仮想偏差値 11.75
標準偏差縮小率 -6.7%

障害の負担感の低下

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.426	3.481
不偏分散	0.928	0.934
標準偏差	0.964	0.966
最小値	1	1
最大値	5	5

↑ 計算上の数値

仮想偏差値 10.94
標準偏差縮小率 -0.2%

	合計	生きがい	自己実現力	課題解決力	自己満足度	人間関係へ	将来展望	自己肯定感	好奇心
生活訓練偏差値	15.0	9.7	9.9	8.5	7.0	7.7	7.9	9.3	4.6
生活訓練標準偏差縮小率	-4%	11%	2%	17%	-7%	-14%	0%	-4%	11%

	ストレス対	成功願望	生活設計	人生目標	目標達成へ	援助依頼へ	援助依頼へ	援助依頼へ	共生感
生活訓練偏差値	14.2	6.2	14.1	6.2	8.3	8.6	6.5	6.6	5.8
生活訓練標準偏差縮小率	-15%	-8%	-9%	11%	10%	30%	40%	40%	12%

	楽観性	支援者の存在	他者との信頼	友人意識	障害の重要	ハンデキャ	障害の負担感の低下
生活訓練偏差値	5.2	5.4	6.4	4.2	4.8	11.8	10.9
生活訓練標準偏差縮小率	23%	35%	14%	26%	-8%	-7%	0%

■WHO/QOL

○生活訓練

合計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	62.667	76.278
不偏分散	81.094	137.336
標準偏差	9.005	11.719
最小値	46	53
最大値	87	105

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 15.11
標準偏差縮小率 -30.1%

領域Ⅰ 身体的領域

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.577	3.05
不偏分散	0.193	0.15
標準偏差	0.439	0.387
最小値	1.714	2.143
最大値	3.714	3.857

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.77
標準偏差縮小率 11.8%

領域Ⅱ 心理的領域

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.485	3.052
不偏分散	0.204	0.317
標準偏差	0.451	0.563
最小値	1.667	2.167
最大値	4.333	4.333

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 12.57
標準偏差縮小率 -24.8%

領域Ⅲ 社会的領域

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.623	3.037
不偏分散	0.562	0.661
標準偏差	0.75	0.813
最小値	1	1
最大値	4.333	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.52
標準偏差縮小率 -8.4%

領域Ⅳ 環境

	開始時	終了時
n	80	80
平均	8.575	6.925
不偏分散	16.096	13.665
標準偏差	4.012	3.697
最小値	4	4
最大値	20	18

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 -4.11
標準偏差縮小率 7.9%

領域Ⅴ 全体

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.398	3.12
不偏分散	0.494	0.594
標準偏差	0.703	0.771
最小値	1	1
最大値	4.5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.27
標準偏差縮小率 -9.7%

生活の質の評価

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.463	3.185
不偏分散	0.668	0.644
標準偏差	0.818	0.803
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.83
標準偏差縮小率 1.8%

健康状態の満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.333	3.056
不偏分散	0.679	0.846
標準偏差	0.824	0.92
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.77
標準偏差縮小率 -11.7%

障害による活動制限の緩和

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.87	2.259
不偏分散	1.398	1.139
標準偏差	1.182	1.067
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.17
標準偏差縮小率 9.7%

医療の必要度の軽減

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.796	2.537
不偏分散	1.033	0.97
標準偏差	1.016	0.985
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.55
標準偏差縮小率 3.1%

生活の充実度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.296	3.241
不偏分散	0.854	0.752
標準偏差	0.924	0.867
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.23
標準偏差縮小率 6.2%

生活の意義の実感

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.222	3.389
不偏分散	0.742	0.921
標準偏差	0.861	0.96
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 13.55
標準偏差縮小率 -11.5%

集中力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.519	3.315
不偏分散	0.556	0.861
標準偏差	0.746	0.928
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.67
標準偏差縮小率 -24.4%

生活の安全度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.833	3.722
不偏分散	0.557	0.733
標準偏差	0.746	0.856
最小値	2	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.92
標準偏差縮小率 -14.7%

健康的な生活環境

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.815	3.37
不偏分散	1.059	0.766
標準偏差	1.029	0.875
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.39
標準偏差縮小率 15.0%

生活への活力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.426	3.259
不偏分散	0.589	0.875
標準偏差	0.767	0.935
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.86
標準偏差縮小率 -21.9%

外見（障害）の受容

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.444	3
不偏分散	0.855	0.906
標準偏差	0.925	0.952
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.01
標準偏差縮小率 -2.9%

経済的余裕

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.37	3.019
不偏分散	0.841	1.113
標準偏差	0.917	1.055
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.08
標準偏差縮小率 -15.0%

情報を得る機会

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.648	3.426
不偏分散	0.836	0.74
標準偏差	0.914	0.86
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.51
標準偏差縮小率 5.9%

余暇機会

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.444	3.37
不偏分散	0.969	0.539
標準偏差	0.984	0.734
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.41
標準偏差縮小率 25.4%

近隣外出の機会

	開始時	終了時
n	53	54
平均	2.415	3.5
不偏分散	1.132	1.123
標準偏差	1.064	1.06
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.20
標準偏差縮小率 0.4%

睡眠の満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.759	3.389
不偏分散	1.281	0.77
標準偏差	1.132	0.878
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.57
標準偏差縮小率 22.4%

活動力の満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.481	3.315
不偏分散	0.783	0.748
標準偏差	0.885	0.865
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.42
標準偏差縮小率 2.3%

労働能力の満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.333	3.093
不偏分散	0.679	0.803
標準偏差	0.824	0.896
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.22
標準偏差縮小率 -8.7%

自己満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.13	2.889
不偏分散	0.681	0.931
標準偏差	0.825	0.965
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.20
標準偏差縮小率 -17.0%

人間関係満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.704	3.315
不偏分散	0.741	0.748
標準偏差	0.861	0.865
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.10
標準偏差縮小率 -0.5%

性生活への満足度

	開始時	終了時
n	42	42
平均	2.667	2.905
不偏分散	0.52	0.576
標準偏差	0.721	0.759
最小値	1	1
最大値	3	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.30
標準偏差縮小率 -5.3%

友人への満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.093	3.537
不偏分散	1.104	0.857
標準偏差	1.051	0.926
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.22
標準偏差縮小率 11.9%

自宅環境満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.926	3.593
不偏分散	1.126	0.85
標準偏差	1.061	0.922
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.29
標準偏差縮小率 13.1%

医療・福祉満足度

	開始時	終了時
n	53	54
平均	3.038	3.667
不偏分散	0.652	0.642
標準偏差	0.808	0.801
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.78
標準偏差縮小率 0.9%

移動環境満足度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.296	3.333
不偏分散	1.42	1.057
標準偏差	1.192	1.028
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 0.31
標準偏差縮小率 13.8%

心理的負荷の軽減

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.296	2.481
不偏分散	1.42	1.009
標準偏差	1.192	1.005
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.84
標準偏差縮小率 15.7%

	合計	領域Ⅰ身体的領域	領域Ⅱ心理的領域	領域Ⅲ社会的領域	領域Ⅳ環境	領域Ⅴ全体
生活訓練偏差値	15.1	10.8	12.6	5.5	-4.1	10.3
生活訓練標準偏差縮小率	-30%	12%	-25%	-8%	8%	-10%

	生活の質	健康状態	障害による	医療の必要	生活の充実	生活の意識	集中力	生活の安全	健康的な生活環境
生活訓練偏差値	8.8	8.8	5.2	2.5	10.2	13.6	10.7	11.9	5.4
生活訓練標準偏差縮小率	2%	-12%	10%	3%	6%	-11%	-24%	-15%	15%

	生活への活	外見(障害)	経済的余裕	情報を得る	余暇機会	近隣外出の	睡眠の満足	活動力の満	労働能力の満足度
生活訓練偏差値	10.9	6.0	7.1	8.5	9.4	10.2	5.6	9.4	9.2
生活訓練標準偏差縮小率	-22%	-3%	-15%	6%	25%	0%	22%	2%	-9%

	自己満足度	人間関係満	性生活への	友人への満	自宅環境満	医療・福祉	移動環境満	心理的負荷の軽減
生活訓練偏差値	9.2	7.1	3.3	4.2	6.3	7.8	0.3	6.8
生活訓練標準偏差縮小率	-17%	0%	-5%	12%	13%	1%	14%	16%

■WHO-DAS

○生活訓練

単純合計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	95.796	67.63
不偏分散	564.128	467.823
標準偏差	23.751	21.629
最小値	27	25
最大値	145	129

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.86
標準偏差縮小率 8.9%

複雑集計 1

	開始時	終了時
n	54	54
平均	44.392	24.284
不偏分散	265.77	233.924
標準偏差	16.302	15.295
最小値	5.66	3.774
最大値	77.358	66.038

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 12.33
標準偏差縮小率 6.2%

複雑集計 2

	開始時	終了時
n	54	54
平均	42.593	24.014
不偏分散	259.705	233.231
標準偏差	16.115	15.272
最小値	6.522	4.348
最大値	78.261	68.478

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.53
標準偏差縮小率 5.2%

集中力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.685	1.741
不偏分散	1.276	0.799
標準偏差	1.13	0.894
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.35
標準偏差縮小率 20.9%

記憶力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.759	1.981
不偏分散	1.016	0.66
標準偏差	1.008	0.812
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.72
標準偏差縮小率 19.4%

課題解決力

	開始時	終了時
n	54	53
平均	3.241	2.245
不偏分散	0.79	0.919
標準偏差	0.889	0.959
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.20
標準偏差縮小率 -7.9%

学習能力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	3.056	2.093
不偏分散	0.884	0.765
標準偏差	0.94	0.875
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.24
標準偏差縮小率 6.9%

理解力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.37	1.741
不偏分散	1.068	0.648
標準偏差	1.033	0.805
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.09
標準偏差縮小率 22.1%

会話能力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.444	1.907
不偏分散	1.195	0.765
標準偏差	1.093	0.875
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.91
標準偏差縮小率 19.9%

認知小計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	16.556	11.667
不偏分散	15.686	15.396
標準偏差	3.96	3.924
最小値	7	6
最大値	25	24

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 12.35
標準偏差縮小率 0.9%

立位能力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.759	1.333
不偏分散	1.243	0.566
標準偏差	1.115	0.752
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.82
標準偏差縮小率 32.6%

立ち上がり

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.444	1.278
不偏分散	0.78	0.582
標準偏差	0.883	0.763
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.88
標準偏差縮小率 13.6%

屋内移動能力

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.63	1.185
不偏分散	1.106	0.305
標準偏差	1.051	0.552
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.23
標準偏差縮小率 47.5%

屋外近距離移動

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.13	1.426
不偏分散	1.926	0.777
標準偏差	1.388	0.882
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.07
標準偏差縮小率 36.5%

屋外遠距離移動

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.185	1.648
不偏分散	1.625	1.327
標準偏差	1.275	1.152
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.21
標準偏差縮小率 9.6%

可動性小計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	9.148	6.87
不偏分散	23.676	12.87
標準偏差	4.866	3.587
最小値	5	5
最大値	23	24

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.68
標準偏差縮小率 26.3%

活動力（洗体）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.519	1.241
不偏分散	1.085	0.488
標準偏差	1.041	0.699
最小値	1	1
最大値	4	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.67
標準偏差縮小率 32.9%

活動力（更衣）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.333	1.167
不偏分散	0.453	0.255
標準偏差	0.673	0.505
最小値	1	1
最大値	3	3

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.47
標準偏差縮小率 25.0%

活動力（食事）

	開始時	終了時
n	54	54
平均	1.444	1.148
不偏分散	0.629	0.166
標準偏差	0.793	0.408
最小値	1	1
最大値	4	3

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.73
標準偏差縮小率 48.5%

身辺自立度

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.463	1.556
不偏分散	1.461	0.629
標準偏差	1.209	0.793
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.50
標準偏差縮小率 34.4%

セルフケア小計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	6.759	5.111
不偏分散	7.62	3.874
標準偏差	2.76	1.968
最小値	4	4
最大値	15	13

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.97
標準偏差縮小率 28.7%

コミュニケーションカ

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.722	1.889
不偏分散	1.035	0.818
標準偏差	1.017	0.904
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.19
標準偏差縮小率 11.1%

交友関係維持

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.278	1.685
不偏分散	1.148	0.635
標準偏差	1.071	0.797
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.54
標準偏差縮小率 25.6%

身近な人との交流

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.167	1.444
不偏分散	1.16	0.667
標準偏差	1.077	0.816
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.71
標準偏差縮小率 24.2%

新しい友人を作る

	開始時	終了時
n	54	54
平均	2.796	2.093
不偏分散	1.561	1.029
標準偏差	1.25	1.014
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.62
標準偏差縮小率 18.9%

性行為

	開始時	終了時
n	37	38
平均	3	2.789
不偏分散	2.5	2.603
標準偏差	1.581	1.613
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.33
標準偏差縮小率 -2.0%

他者との交流小計

	開始時	終了時
n	54	54
平均	12.019	9.074
不偏分散	24.773	15.579
標準偏差	4.977	3.947
最小値	4	4
最大値	25	25

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.92
標準偏差縮小率 20.7%

家庭での役割

	開始時	終了時
n	53	52
平均	2.849	1.904
不偏分散	1.361	0.834
標準偏差	1.167	0.913
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.10
標準偏差縮小率 21.8%

家事活動(習熟度)

	開始時	終了時
n	53	52
平均	2.962	2.077
不偏分散	1.422	0.7
標準偏差	1.192	0.837
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.42
標準偏差縮小率 29.8%

家事活動(自立度)

	開始時	終了時
n	53	52
平均	3.132	2.231
不偏分散	1.309	0.848
標準偏差	1.144	0.921
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.88
標準偏差縮小率 19.5%

家事活動(効率性)

	開始時	終了時
n	53	52
平均	3.189	2.154
不偏分散	1.348	0.878
標準偏差	1.161	0.937
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.91
標準偏差縮小率 19.3%

活動制限(家事)の改善

	開始時	終了時
n	54	54
平均	11.722	3.259
不偏分散	169.223	36.535
標準偏差	13.009	6.044
最小値	0	0
最大値	30	25

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.51
標準偏差縮小率 53.5%

仕事/学校(参加)

	開始時	終了時
n	51	51
平均	3.176	1.745
不偏分散	1.788	0.754
標準偏差	1.337	0.868
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.70
標準偏差縮小率 35.1%

仕事/課題(習熟)

	開始時	終了時
n	51	51
平均	3.255	1.98
不偏分散	1.234	0.7
標準偏差	1.111	0.836
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.48
標準偏差縮小率 24.8%

仕事(自立度)

	開始時	終了時
n	52	51
平均	3.385	2.078
不偏分散	1.104	0.954
標準偏差	1.051	0.977
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 12.44
標準偏差縮小率 7.0%

仕事(効率性)

	開始時	終了時
n	52	51
平均	3.327	2.216
不偏分散	1.205	0.893
標準偏差	1.098	0.945
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.12
標準偏差縮小率 13.9%

仕事の量・質の向上

	開始時	終了時
n	49	50
平均	1.755	1.56
不偏分散	0.189	0.251
標準偏差	0.434	0.501
最小値	1	1
最大値	2	2

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.49
標準偏差縮小率 -15.4%

収入の改善

	開始時	終了時
n	48	49
平均	1.771	1.612
不偏分散	0.18	0.242
標準偏差	0.425	0.492
最小値	1	1
最大値	2	2

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.74
標準偏差縮小率 -15.8%

仕事の従事日数の向上

	開始時	終了時
n	54	54
平均	14.352	2.574
不偏分散	194.308	37.079
標準偏差	13.939	6.089
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.45
標準偏差縮小率 56.3%

日常生活小計

	開始時	終了時
n	53	52
平均	28.132	19.25
不偏分散	63.04	41.093
標準偏差	7.94	6.41
最小値	12	7
最大値	42	36

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.19
標準偏差縮小率 19.3%

地域活動参加

	開始時	終了時
n	49	48
平均	3.204	2.208
不偏分散	1.874	1.275
標準偏差	1.369	1.129
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.28
標準偏差縮小率 17.5%

環境因子(疎外因子)の改善

	開始時	終了時
n	51	50
平均	2.765	2.08
不偏分散	1.184	1.177
標準偏差	1.088	1.085
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.30
標準偏差縮小率 0.3%

環境因子(人的疎外因子)の改善

	開始時	終了時
n	53	52
平均	2.811	1.923
不偏分散	1.156	0.739
標準偏差	1.075	0.86
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.26
標準偏差縮小率 20.0%

健康改善

	開始時	終了時
n	53	52
平均	2.943	2.173
不偏分散	0.939	1.009
標準偏差	0.969	1.004
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.95
標準偏差縮小率 -3.6%

心理的影響の改善

	開始時	終了時
n	53	51
平均	3.132	2.157
不偏分散	1.232	0.935
標準偏差	1.11	0.967
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.78
標準偏差縮小率 12.9%

経済状態の改善

	開始時	終了時
n	51	50
平均	3.275	2.38
不偏分散	1.563	1.587
標準偏差	1.25	1.26
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.16
標準偏差縮小率 -0.8%

家族の負担軽減

	開始時	終了時
n	53	52
平均	3.491	2.346
不偏分散	0.947	1.015
標準偏差	0.973	1.008
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 11.77
標準偏差縮小率 -3.6%

余暇生活

	開始時	終了時
n	53	52
平均	3	2.115
不偏分散	1.346	1.006
標準偏差	1.16	1.003
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.63
標準偏差縮小率 13.5%

社会への参加小計

	開始時	終了時
n	53	52
平均	24.151	17
不偏分散	44.208	35.098
標準偏差	6.649	5.924
最小値	9	6
最大値	35	32

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.76
標準偏差縮小率 10.9%

全体的な困難の軽減

	開始時	終了時
n	54	54
平均	16.259	3.944
不偏分散	180.347	63.978
標準偏差	13.429	7.999
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.17
標準偏差縮小率 40.4%

日常生活不能状態の改善

	開始時	終了時
n	54	54
平均	13.185	1.481
不偏分散	169.965	10.103
標準偏差	13.037	3.179
最小値	0	0
最大値	30	15

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.98
標準偏差縮小率 75.6%

日常生活不全状態の改善

	開始時	終了時
n	54	54
平均	10.778	2.37
不偏分散	173.572	38.389
標準偏差	13.175	6.196
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.38
標準偏差縮小率 53.0%

	単純合計	複雑集計1	複雑集計2	集中力	記憶力	課題解決力	学習能力	理解力	会話能力
生活訓練偏差値	11.9	12.3	11.5	8.4	7.7	11.2	10.2	6.1	4.9
生活訓練標準偏差縮小率	9%	6%	5%	21%	19%	-8%	7%	22%	20%

	認知小計	立位能力	立ち上がり	屋内移動	屋外近距離	屋外遠距離	可動性小計	活動力(洗)	活動力(更衣)
生活訓練偏差値	12.3	3.8	1.9	4.2	5.1	4.2	4.7	2.7	2.5
生活訓練標準偏差縮小率	1%	33%	14%	47%	36%	10%	26%	33%	25%

	活動力(食)	身辺自立度	セルフケア力	コミュニケー	交友関係	身近な人と	新しい友人	性行為	他者との交流小計
生活訓練偏差値	3.7	7.5	6.0	8.2	5.5	6.7	5.6	1.3	5.9
生活訓練標準偏差縮小率	49%	34%	29%	11%	26%	24%	19%	-2%	21%

	家庭での役	家事活動(1)	家事活動(2)	家事活動(3)	活動制限(1)	仕事/学校	仕事/課題	仕事(自立)	仕事(効率性)
生活訓練偏差値	8.1	7.4	7.9	8.9	6.5	10.7	11.5	12.4	10.1
生活訓練標準偏差縮小率	22%	30%	19%	19%	54%	35%	25%	7%	14%

	仕事の量	収入の改善	仕事の従事	日常生活小	地域活動	環境因子(1)	環境因子(2)	健康改善	心理的影響の改善
生活訓練偏差値	4.5	3.7	8.4	11.2	7.3	6.3	8.3	7.9	8.8
生活訓練標準偏差縮小率	-15%	-16%	56%	19%	18%	0%	20%	-4%	13%

	経済状態の	家族の負担	余暇生活	社会への参	全体的な困	日常生活不	日常生活不全状態の改善
生活訓練偏差値	7.2	11.8	7.6	10.8	9.2	9.0	6.4
生活訓練標準偏差縮小率	-1%	-4%	14%	11%	40%	76%	53%

■LSA

○生活訓練

	開始時	終了時
n	54	54
平均	48.148	78.157
不偏分散	901.1	862.423
標準偏差	30.018	29.367
最小値	2	5
最大値	120	120

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.00
標準偏差縮小率 2.2%

	LSA
生活訓練偏差値	10.0
生活訓練標準偏差縮小率	2%

■実用的歩行能力分類

○生活訓練

	開始時	終了時
n	39	39
平均	4.897	5.487
不偏分散	1.305	0.993
標準偏差	1.142	0.997
最小値	1	1
最大値	6	6

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.17
標準偏差縮小率 12.7%

	歩行能力
生活訓練偏差値	5.2
生活訓練標準偏差縮小率	13%